



Blockchain as a Service for ID

The English version of whitepaper is the main official source of BAAS token-related information. The whitepaper will be translated into other languages as needed and used in writing or verbal communication with existing and potential customers, partners, etc. During translation or communication, some of the information may be lost, damaged or inaccurate. The accuracy of such alternative communication cannot be guaranteed. If there is any conflict or inconsistency in such translation and communication, the original English version of whitepaper will be referred to as the benchmark.

White Paper
V.3.4.3





ブロックチェーン型共有ネットワークベースによる インスタント個人認証プラットフォーム

Instant Private certification Platform
Based on
Public network of Blockchain

“Independence from the Database”

White Paper
(特許出願)

用語の定義

本白書では「BaaSid」プロジェクトの理解を深めるために創り出された単語と、あまり使われていない単語を使用しているため、それらの単語についての説明です。

用語	内容
BaaS	Blockchain as a Serviceの略で、不特定多数のインターネット上のサービス事業者がブロックチェーンベースの技術とインフラを手軽に利用できるようにする概念のこと。(例)SaaS : Software as a Service
BaaSid	BaaSインフラの一つであり、本プロジェクトが構築する共有ネットワークベースで提供する各種ログインや本人証明、その他の認証サービスのこと。 BaaS + ID(Identification)
BAAS	「BaaSid」サービスを利用する全てのインターネット上のサービス事業者とユーザー（参加者）が相互に提供したり交換したりできる暗号通貨の単位。
COPN	Certification of Public Networkの略。インターネット上のサービス事業者のデータベース或いは第3の認証機関、ユーザ保有のデバイスなど、全てが中央に集約された形のデータベースやストレージではなく、共有ネットワーク上のノード（不特定の参加者）にて、個々の重要な個人情報をsplitし断片を分散させ保管する共有ネットワークインフラ（Infra）のこと。
Split ID	様々な形態（Text、image）の個人情報を暗号化し、Split Engineでデータを細かく分解し数千個の断片にします。断片は最速のスピードで最適化されたノードに一部ずつ各々分散して保管します。この最小単位に暗号化されたデータのこと。
Split Block	Splitされ、細かくなったりSplit IDが最速のスピードで最適化されたノード（不特定の参加者）にそれぞれ異なるSplit IDが保存される。その際に一つのグループが生成される。そのグループ最小単位をSplit Blockと呼ぶ。
Instant Access	自分が所属するSplit Blockにおいて、ノードにそれぞれ割り当てられた異なるSplit IDを呼び出し、素早く安全にログインし、臨時会員登録（Instant Membership）、決済認証などを行える1回限りのインスタントアクセス権限のこと。
Hyper Confirm	Instant Accessによる安全で手軽な認証を通じてログインや臨時会員登録、決済、送金などを、インターネット上のサービス事業者のデータベースや第3の認証機関、PG（Payment Gateway）等を介さず、共有ネットワーク認証（COPN）を通じて行うこと。

Index

1. Background of "BaaSid"

- What is "BaaSid"	page 7
- Decentralization	page 8
- Why "BaaSid"	page 10
- Split & Distribution Engine	page 11
- Split ID	page 12
- Combination Engine Descrambling and Verification Stage	page 13
- One Pass: an all-in-in sophisticated verification	page 14
- BaaS Certification API Service	page 15
- "DB Governance" of BaaSid Participants	page 16

2. Introduction

- Limitations of and problems with blockchain	page 18
- Borrowing the DB of BaaS based participants	page 19
- Split & Distribute Data	page 20
- Verification that is user-centered based on the Certification Certification of Public Network (COPN)	page 21
- Split Block and Crypto exchange Block	page 22
- Proof of integrity for Split & Distribute data	page 23

3. BaaS (Blockchain as a Service)

- "BaaS Union"	page 25
- The Benefit of User and OSP using "BaaSid"	page 26

4. "BaaSid" Component

- Instant Access API	page 30
- "BaaS" User Database	page 30
- PoA(Proof of Access) & PoH(Proof of Holding)	page 31
- Transaction validator	page 32
- BaaS (Blockchain as a Service)	page 32
- Specifications	page 33

Index

5. Vision of “BaaSid”

- Standard of BaaS page 35
- Internet Service Market page 35
- Big Data Service “BigBaaS” page 36
- Use and Circulation of BAAS Token page 38

6. Team & Partners

- Organization page 40
- BaaSid’s Business and Operating page 41
- BaaSid’s R&D / BaaS Lab page 45
- BaaSid’s Marketing page 50
- BaaSid’s Advisor page 53
- BaaSid’s Legal Support page 55
- Global Business Partner page 56

7. Roadmap

- Roadmap page 58
- Simple Work Breakdown Structure page 59
- BAAS Token issuance page 60
- Use of the raised funds page 61
- Legal Announcement page 62

8. Know more about BaaSid

- News page 64
- Channel information page 69



“100% Decentralization”

1

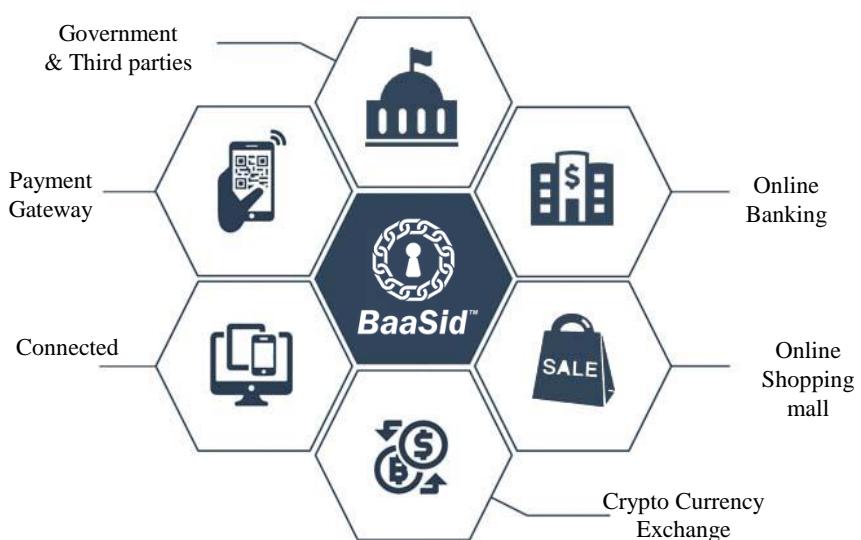
1. Background of "BaaSid"

1.1 What is "BaaSid"?

本白書にて説明するBaaSとは「Blockchain as a service」の略称であり、既存のWeb Service、Application Service、Blockchainと関連したサービス（仮想通貨取引所など）等を含めた全てのインターネットサービスの構築とサービス提供において、Blockchainインフラの一部、或いは全体を利用し提供するという概念を言います。

このようなBaaSのインフラにおいて「BaaSid」はインターネット上のサービス事業者に対し、共有ネットワークベースの強力で安全なデータベースを分解し、分散させたP2Pベースによる不特定多数からの認証サービスを提供することになります。また、第3の認証機関の認証書、PG(Payment Gateway)等に代わり、認証手続きをシンプル化させながらもより安全で便利なサービスを提供するものです。

インターネット上の全てのサービス事業者は既存のSaaS、IaaS、PaaS或いはASPサービスを事業目的に合わせて選択利用し活用してきました。新しいブロックチェーンの世界ではBaaS概念の元に、必要な部分のBlockchainインフラAPIやデータベース、ひいては必要なNode Members（ユーザ、或いは参加者）の動員および参加、Network資源、その他爆発的に増加している様々な形態のBlockchainインフラ上で様々なSoftwareや技術などを利用し活用できるようになります。



[“BaaSid” : Blockchain as a Service for Identification]

「BaaSid」はインターネット上の全てのサービス事業者とユーザー（参加者）に、より便利で安全なログインシステムと様々なパターンの認証処理をサポートするように設計されており、サービス事業者とユーザー（参加者）間でより活発なコミュニケーションを発生させる役割を担えるように考えられています。

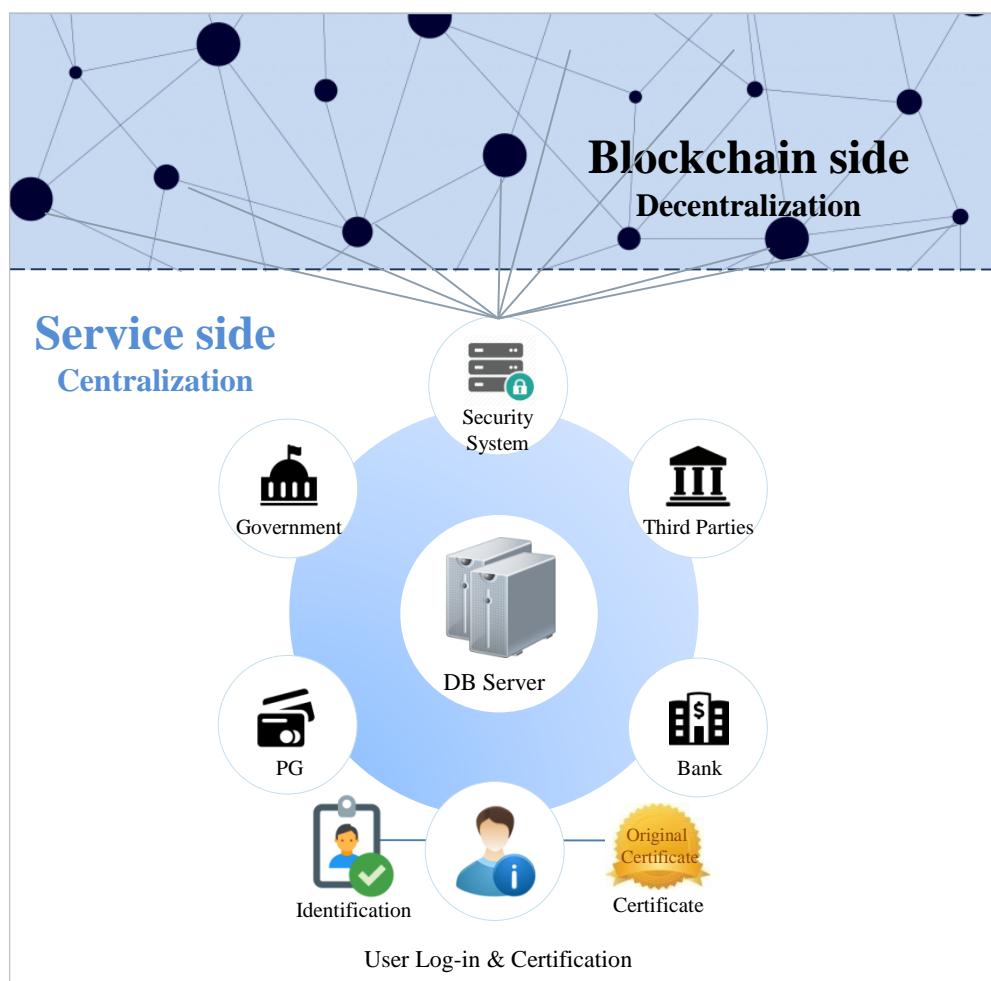
1. Background of "BaaSid"

1.2 Decentralization?

技術的な側面におけるブロックチェーンの最大の目的は、ハッカーによる偽造や捏造を阻止するために、共有取引台帳を通じた参加者自身の強力なセキュリティと永続性を維持できる技術を持つことであり、そこに最大の意味を置いています。

インターネット上の全てのサービスでは多数のインターネット上のサービス事業者（OSP）のデータベースサーバ或いは第3の認証機関、ユーザー保有のデバイスなどに様々な形の個人情報を保存し使用しており、これを基にログイン、各種の認証、ショッピング、金融決済等、インターネット上で重要な行為が絶えず行われています。

このような現象は脱中央集約化を目指すブロックチェーンサービスにおいて、既に新たな中央集約化が発生しており限界が現れています。

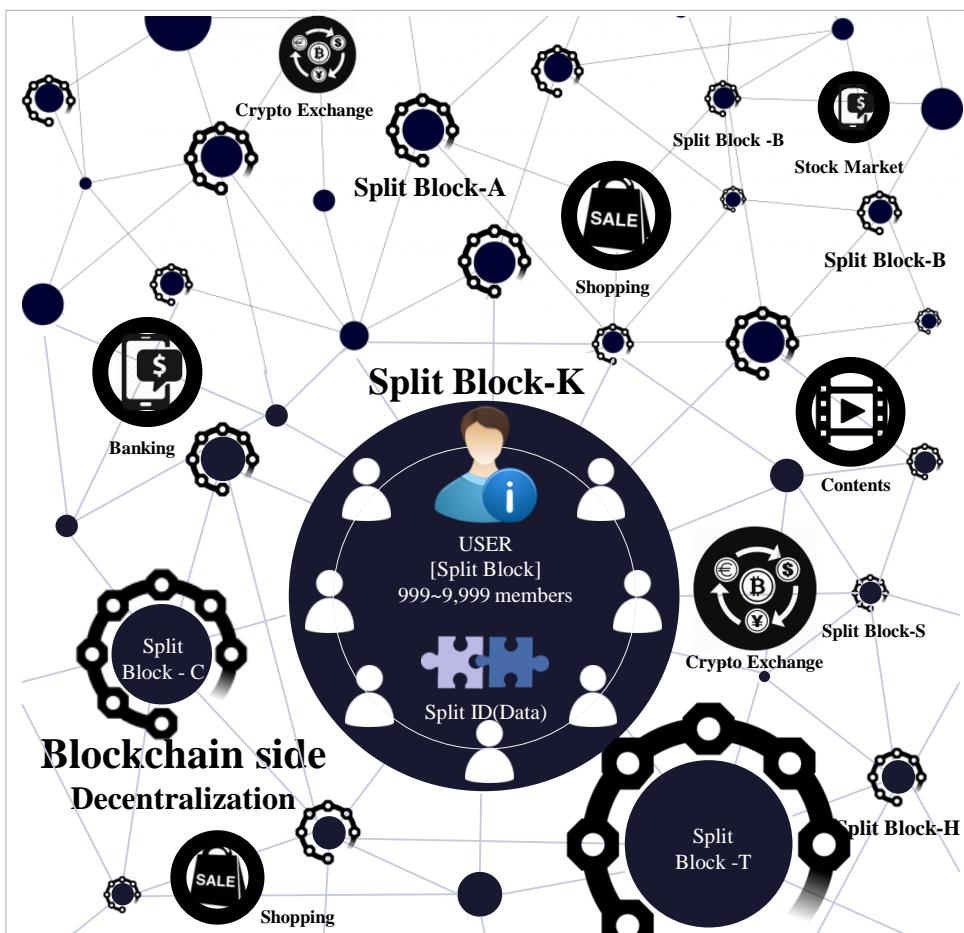


[一般的なインターネットサービス（ブロックチェーンサービスを含む）環境]

1.3 Decentralization!

「BaaSid」ではBlockchainベースの共有ネットワーク認証を活用した『ワンタイムインスタントアクセス』により、ユーザー（参加者）と事業者でより強力なセキュリティとスピーディで簡単な認証を可能にします。

特に大切な個人情報である氏名や電話番号、Eメールアドレス、ID、パスワード、クレジットカード番号、生体認識情報等を細かく分解し（Split）、数百、数千個のノードにそれぞれ異なる固有のデータの断片を保管し、原本が存在しない状態で認証やログインなどができるよう設計されています。



[COPN : Certification of Public Network]

ワンタイムインスタント認証時には、個人情報が一時的に中央集約化され、「生体認証キー」を使って「BaaSid」の共有ネットワーク認証から、細かく数千個に分解され暗号化された自身の個人情報の断片（Split ID）を呼び出し、復号化して組み合わせ「ワンタイムインスタント認証」（instant Access）を行いますが、ワンタイムインスタント認証が終了次第、即時廃棄されるという仕組みです。

「BaaSid」の『ワンタイムパスワードによるインスタント認証』方式とは、インターネット上のサービス事業者が構築・維持している中央集約化されたデータベースや「第3の認証機関」を経たり照会を要したりする原本が存在せず、「BaaSid」の共有ネットワーク認証 (Certification of public network) をベースに不特定多数のユーザー（参加者）を活用し認証する方式を言います。

これは今までのインターネット上の全ての個人認証構造とは正反対の方式で、ブロックチェーンと非ブロックチェーン間の連携、認証のための原本が存在しないこと、第3の認証機関の公認認証書などが不要となり、純粋にユーザー（参加者）（ユーザー或いはNode）の共有ネットワークのみを通すことで完全に脱中央集約化することが「BaaSid」の目標です。

1.4 Why "BaaSid"?

ブロックチェーンの哲学は政府、銀行、機関、企業等、既存の既得権者（政治、経済、社会、文化等の様々な形態と利害関係集団の営利、或いは非営利の権力）による中央集約化から脱し、個人と個人の公共取引台帳を通じた資産の取引と維持における信頼の獲得、そして新たに構成される様々な利害関係の中で自ら能動的な機会を創出する事とそれに対する補償をイメージしています。

今の時代の流れは、様々な種類の中央集約化された権力集団と、それを警戒する大衆とが対峙する状態から発生する不信を越え、個々の人々がより直接的に参加できる巨大なネットワーク上の信頼と公正性を更に強く要求しています。

Blockchainは脱中央集約化を通じて、個人の様々な資産（金銭、不動産、知的財産権、その他全ての資産）をハッキングや紛失、捏造、または腐敗した団体や企業から共有の同一情報によって守り抜き、より良い生活と価値を実現することに意味があります。

しかしこのようなブロックチェーン技術とその利用において、また新たな中央集約化が誕生し続けており、ハッキングの脅威にさらされているということへの疑問が呈されるなどの状況は、既に様々な企業とサービスにおいて発生しています。

ブロックチェーンをベースとする様々なインターネットサービスの参加者情報を再び中央集約化して保存し管理しているのが代表的な事例です。
既に個人情報が保存されている別の中央集約化されたデータベース（DB）においてはハッキングの事例が多く発生しており依然として不安を解消するには役不足な状況です。

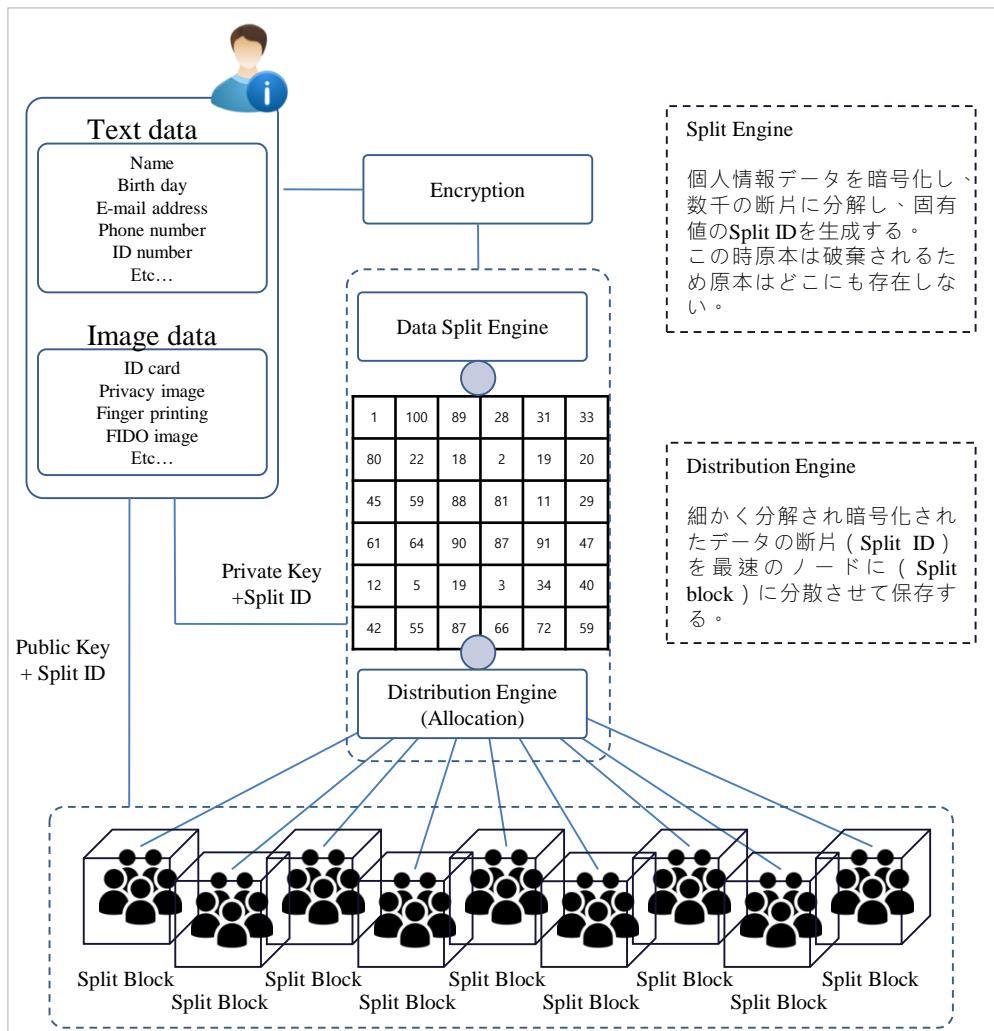
ブロックチェーン技術としては完璧に近い偽造、捏造に対するセキュリティや永続性を保障していますが、これをつなぐ様々なサービスでは既に様々な限界が露呈します。

このような限界にもかかわらず、ブロックチェーン技術を利用した仮装通貨取引所や様々な有料・無料のサービスでは、ユーザーの大切な個人情報を奪取したりハッキングしたりしようとする試みに対しては、未だにユーザー、サービス提供者を不安にさせています。

ブロックチェーンをベースとしたサービスでなくとも、インターネットベースの様々なサービスにおいてIT企業或いは様々な機関等は、ログイン情報（ID&PW）、サービスへの新規登録（個人情報の記入）、仮装通貨ウォレット（個人情報登録によるDB構築）、ショッピングと決済（カード番号及びその他の重要な情報の登録及び流出）等、ブロックチェーン技術適用の有無を超えて、あらゆるインターネットサービスの段階で深刻な個人情報の流出、ハッキング等の様々な脅威にさらされいるとともに挑戦を受け続けています。

更に深刻な問題は、自分の個人情報がいつどこでどのように流出し悪用されたとしても自分自身は気づいておらず、その事実を知った時にはもはや時既に遅しという状況である事です。

1.5 Split & Distribution Engine

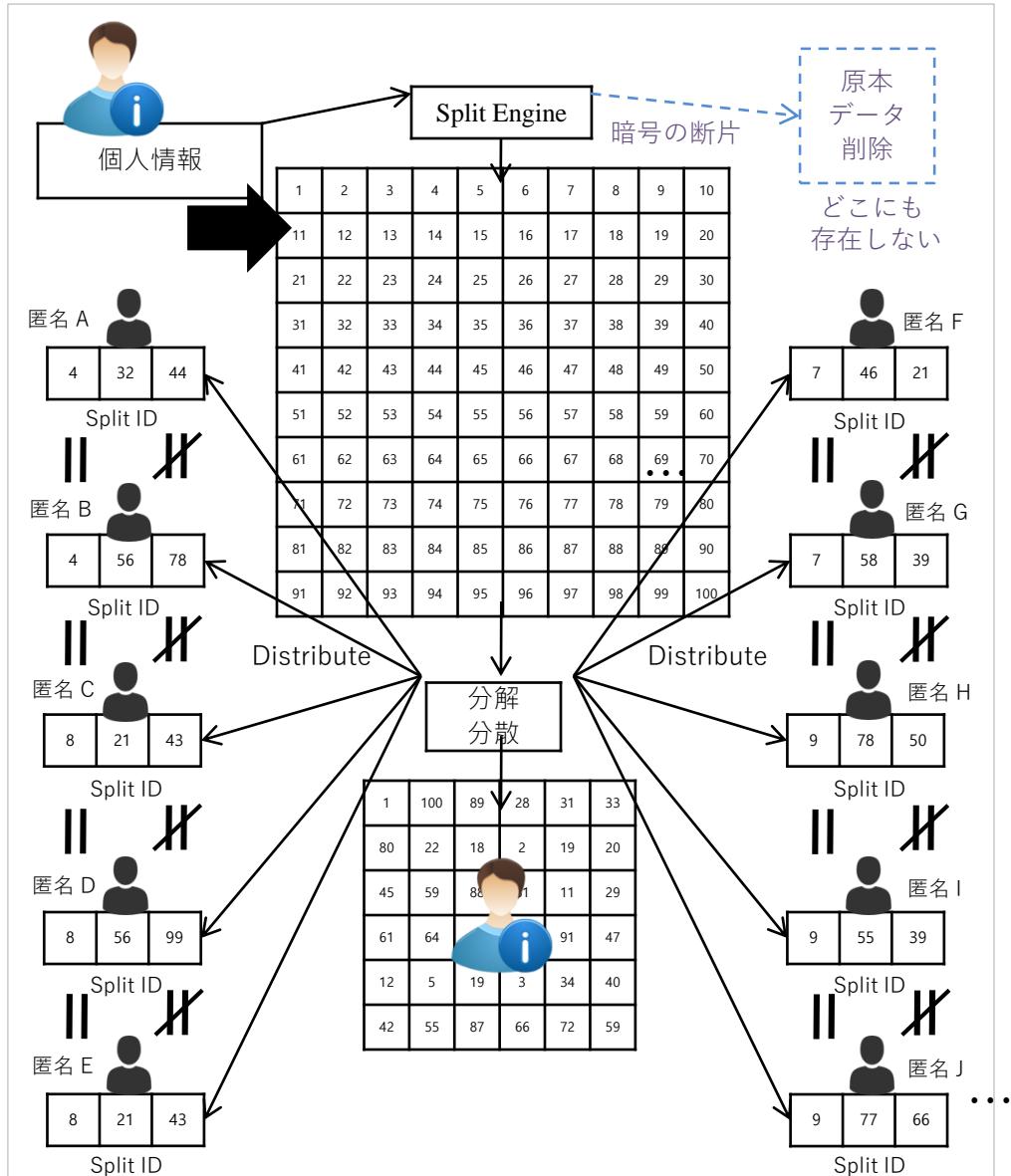


[「BaaSid」認証統合サービス]

1.6 Split ID

ユーザー（参加者）の個人情報はSplit Engineによって数千個の断片に分解される。細かく分解された全てのSplit IDは暗号化され、自分が属する数千人のSplit Blockの中にそれぞれ異なるSplit IDが保存される。

これはP2P（Peer to Peer）の最大の長所である分解されたデータのAllocation値とバラバラに分解させた断片を、最速のスピードでノードとデータを合理的に見つけて組み合わせ、一つの原本をダウンロードしたり復旧するプロセスと酷似している。

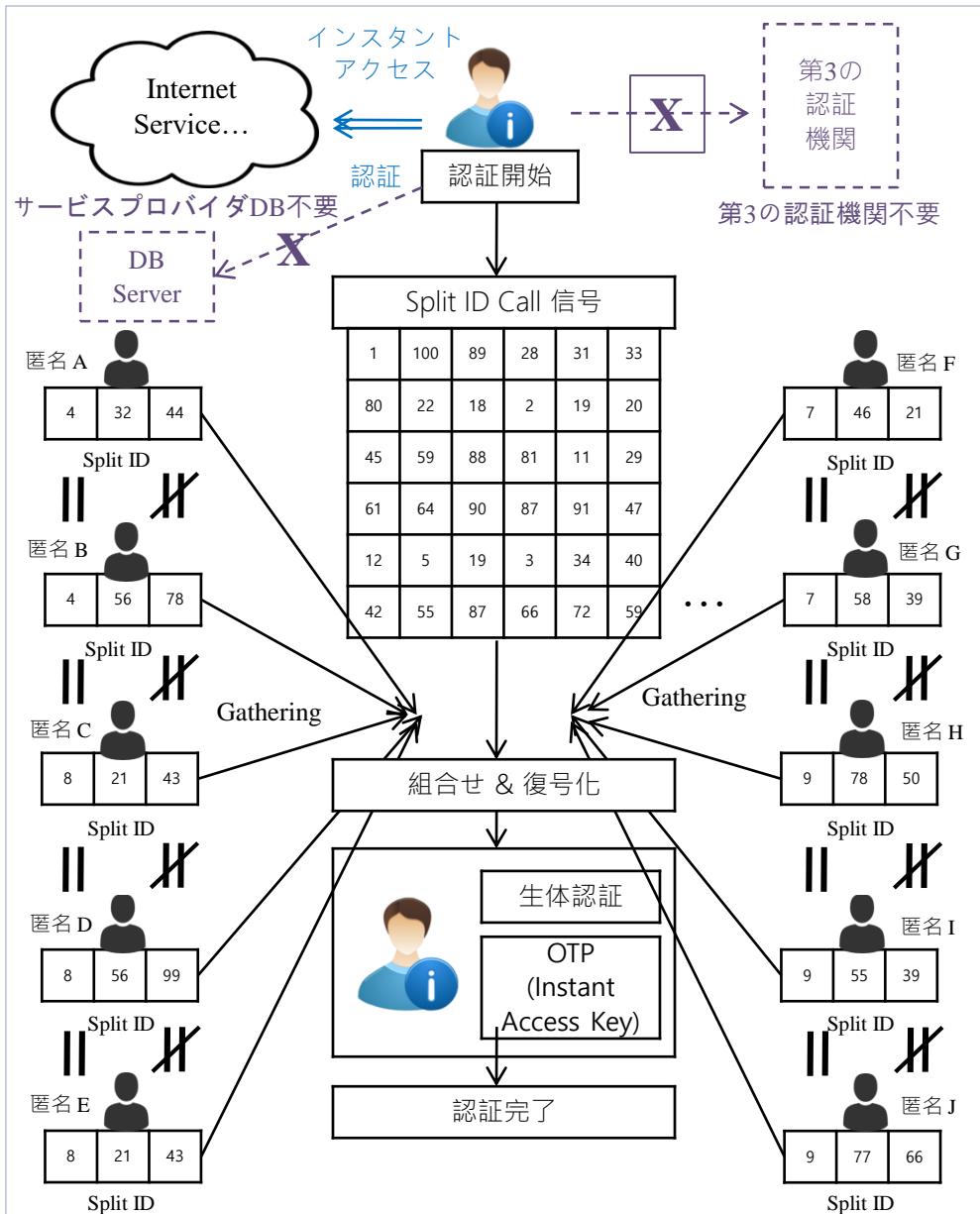


[Split IDの生成と分離・分散]

1.7 Combination Engine 復号化および認証の仕組み

ユーザー（参加者）のSplit IDはPublic Keyとともにそれぞれ固有の暗号コードによって維持され、固有のSplit dataは「BaaSid」の仮装通貨とウォレットそして絶え間ない取引を通じて安全に維持され続けます。

そしてユーザー（参加者）と不特定多数の参加者が特定のインターネットサービスにアクセスする場合、一時的なワンタイムアクセス権をお互いに与えることで認証を証明し参加する事が可能となります。



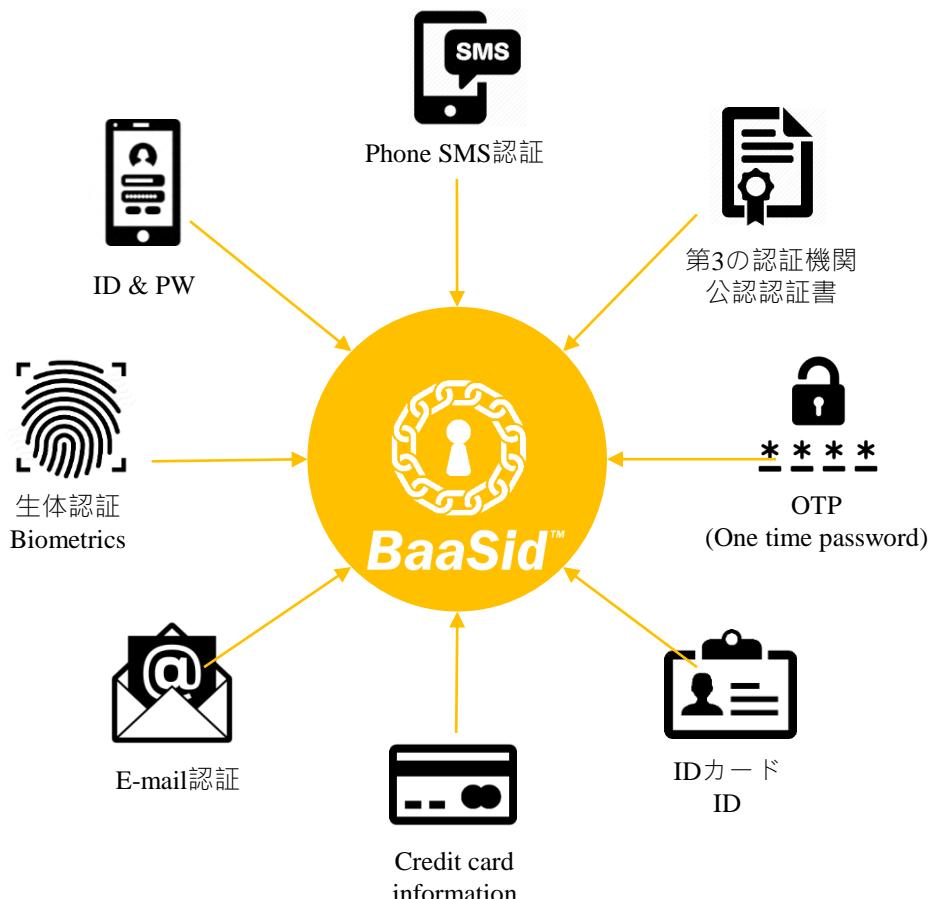
[Split IDの参加および証明]

1.8 複雑な認証を一つにした「One Pass」

「BaaSid」は不特定多数のユーザー（参加者）の同意を得て、全ての認証を許可し証明します。これはブロックチェーンの多数による参加を基本とし互いに異なる独創的かつ固有値に対し更なる価値を与えてています。

個人情報やプライバシーが尊重され、保護されねばならないと同じ論理です。ブロックチェーンサービスであっても依然として個人情報が第3の認証機関やサービス事業者のサーバに保管されているのではブロックチェーン誕生以前の銀行や金融、特定集団の中央集約化と何ら変わりはありません。しかし未だにブロックチェーンはそれについて答えを出したり保障したりはしていません。

「BaaSid」のBaaS APIはサービス事業者に、このような保護や独創的な個人の重要な情報の管理責任を負わせない仕組みになっており、複雑で難解な個人情報政策やその対策・運用から解放されるような様々なサービスを提供するものです。

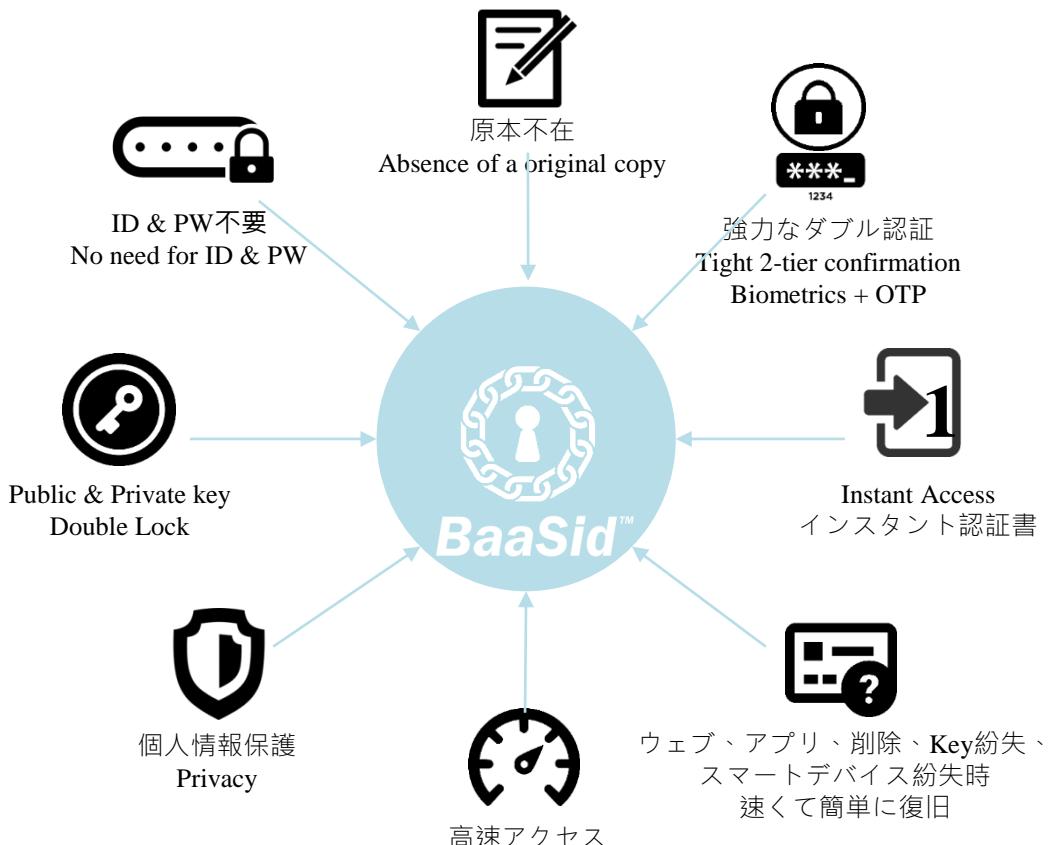


1.9 BaaS Certification API Service

「BaaSid」は個人の独自性とプライバシーを保護するために、不特定多数のノードにそれぞれ異なる固有値を分解して断片とし、その断片をランダムに分散させて保管し、BAASトークン取引はもちろんログインや各種認証等を通じて証明と信頼の台帳を生成し保存します。

これはPOA (Proof of Access) という証明方式であり、ユーザー（参加者）のインターネットサービスへのログインやその他全てのインターネット上での重要な行為がなされることで随時証明される活用性とアクティブな生態系を意味します。

BaaSベースの共有ネットワーク認証 (COPN : Certification of public Network) APIはこのようなユーザー（参加者）の活発で自然な活動に基づいてこれを証明し連結され続けます。

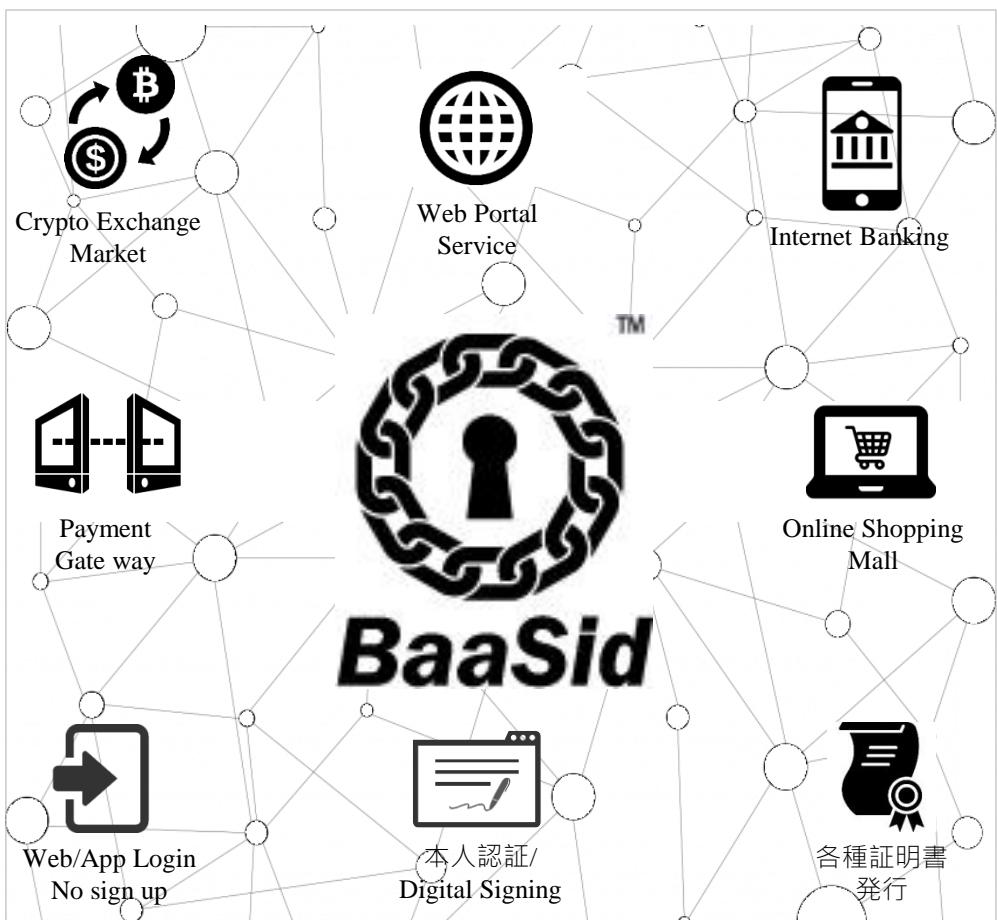


1.10 BaaSid参加者の「DB Governance」

「BaaSid」はサービス事業者がBlockchainをベースとするサービスなのか、Web或いはアプリをベースとするサービスなのかを特に区別していません。全てのサービスはユーザー（参加者）を必要とし、ユーザー（参加者）は色々な形でサービス事業者に利益を与えてくれるからです。

「BaaSid」のユーザー（参加者）は既にアグレッシブで潜在力のある顧客であり、互いを信頼し証明してくれる安全なログインと認証のための『データベース』そのものだからです。

つまり「BaaSid」のユーザー（参加者）は、既に強力なセキュリティと利便性によって安全でスピーディに全てのウェブサイト（「BaaSid」のAPI適用基準）と金融、銀行、証券、ショッピングサイト等にアクセスできる事になります。「BaaSid」は準備が整った潜在的な顧客インフラ、ユーザであり、公共認証とともに処理する「認証主体のガバナンス（Governace）」でもあります。





“Authorization based on public network of Blockchain”

2

2. Introduction

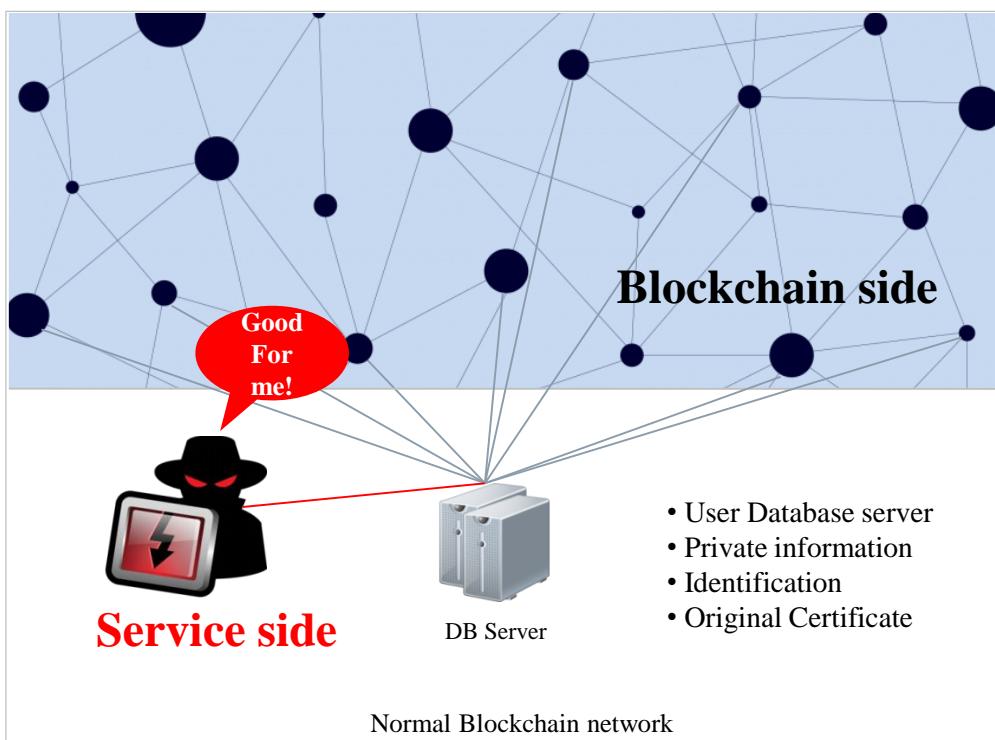
2.1. ブロックチェーンの限界と問題点

今までご説明したように、インターネット上のあらゆるサービスでは数多くの個人情報がサービス事業者のデータベースに保管された状態で使用されており、これを基にログイン、情報確認、決済等、その他全てのユーザーのリクエストをプロバイダと第3の認証機関が認証しています。

これはブロックチェーン技術を適用したサービスだけではなく、全ての機関、団体、企業を問わずインターネット上の全ての有料・無料のサービスが同様であり、このようなデータベースを守るために様々なセキュリティシステムを構築・運営しています。

また、深刻な情報流出やハッキング問題により、各国政府はインターネット上の個人情報を保護するための法令をそれぞれ制定しており、個人情報流出や盗用、取引などに対して厳しい警告メッセージを発するとともに個人と全てのインターネットサービス企業、金融、機関、団体等に多くの努力を要求しています。

それだけだなく脱中央集約化を目指すはずのブロックチェーンの世界は、新たな中央集約化に陥り、更には脆弱なセキュリティで様々なハッキングの対象になるなど、皮肉なことに新しい問題の発生などで一層限界の様相を呈しています。



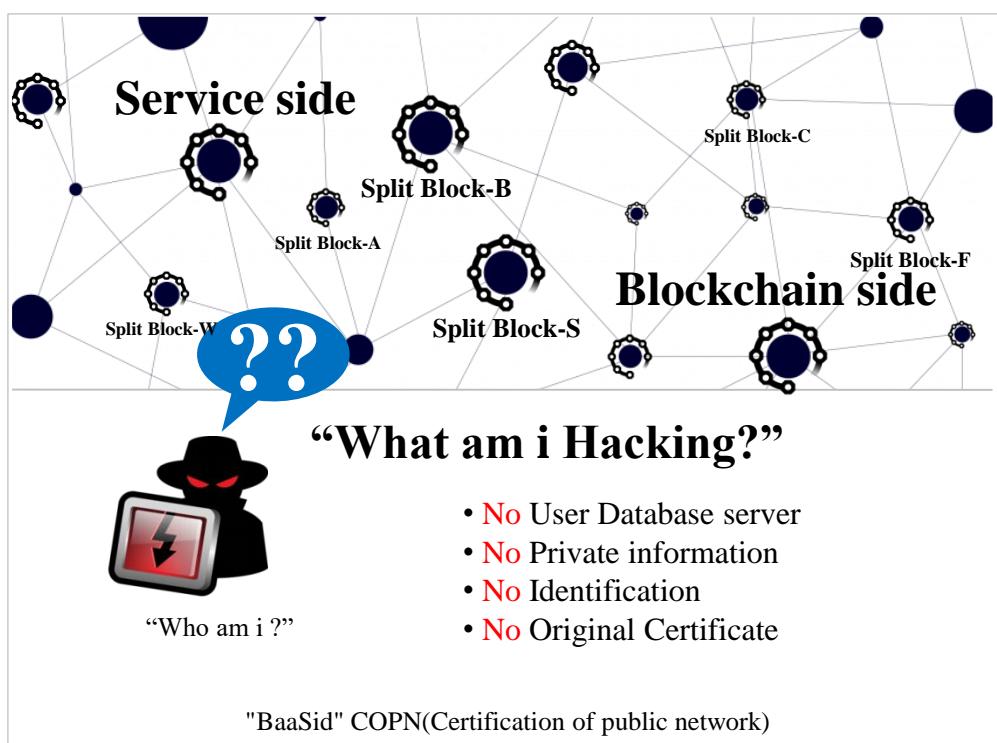
2.2. BaaSベースユーザー（参加者）のDBを借りて利用

全てのブロックチェーンは取引記録を同一の内容で保存し、偽造、捏造に対して強力なセキュリティを提供しています。しかし全員が同じデータを持っているためユーザーの大切な個人情報や中央情報、認証キー等を保管するには非常に無理があります。

「BaaSid」はこのようなブロックチェーンの最も根本的な問題である同一データの保管とその限界を全く新しい視点から解決し提案します。

「BaaSid」のユーザー（参加者）の個人認証に必要な情報は認証時に照会する原本すら如何なるサーバやユーザー保有のデバイスにも保存されずハッキングの試みを根本から遮断します。

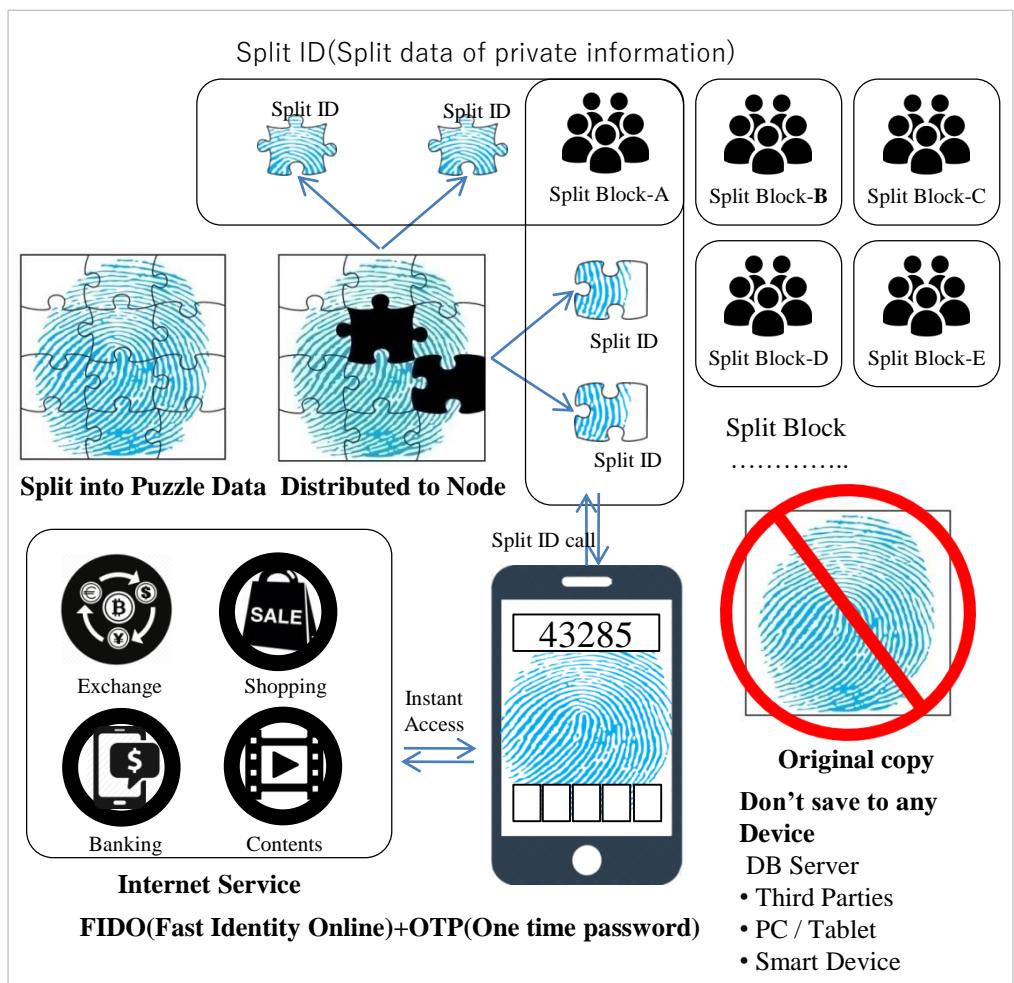
つまり「BaaSid」はユーザー（参加者）の個人情報と生体イメージ、その他全ての情報を原本や、ある一つの形態、或いは個人のデバイスにすら存在させません。ただ共有のユーザー（参加者）のノードに断片として分散し（一部の暗号化されたデータの断片を各ユーザー（参加者）のもとに分散して保管するという意味）保管され収納されるのみです。



2.3. Split & Distribute Data

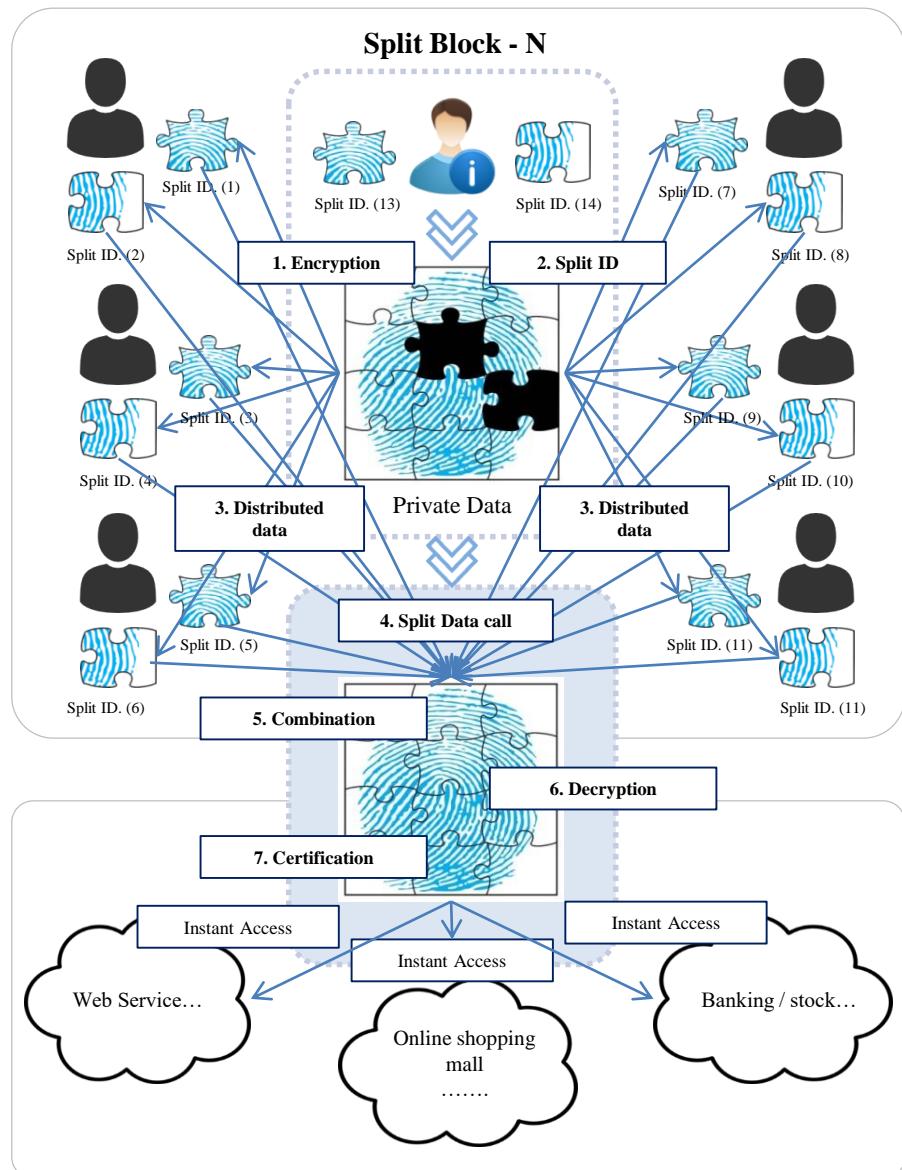
COPN (Certification of Public Network)においては、全てのユーザー（参加者）の個人情報は数千個の細かい断片となります。断片は数百～数千人にランダムに、同じSplit Blockに参加した不特定多数のユーザー（参加者）に、それぞれ異なる暗号化されたデータを保管します。この際、暗号化され細かく分解された個人情報の断片をSplit IDと呼び、このような数千個に分解された断片は再び数百～数千人のSplit Blockに分散して保管されます。

リアルタイム認証のスピードを高めハッキングに対するブロックチェーンの安全性をベースとして分散し保管されたノードグループ（Split Block）のノード数とSplit IDの容量、分解・分散は最適化されます。



2.4. 共有ネットワーク認証（COPN）をベースにするユーザー（参加者）中心の認証

インターネットサービスにログインしたり会員登録をしたり、その他、ショッピング、金融、送金、その他の金融資産の移動等の重要行為の際にバラバラの状態で保管されている暗号の断片はSplit Blockで再び一時的にSplit ID（split data）の断片を本人の生体認証キー（指紋、虹彩、声など）又は本人が覚えているパスワード（オプション）やOTP（One Time Password）にてインスタント認証を行います。インスタント認証後、原本は即時に廃棄されます。

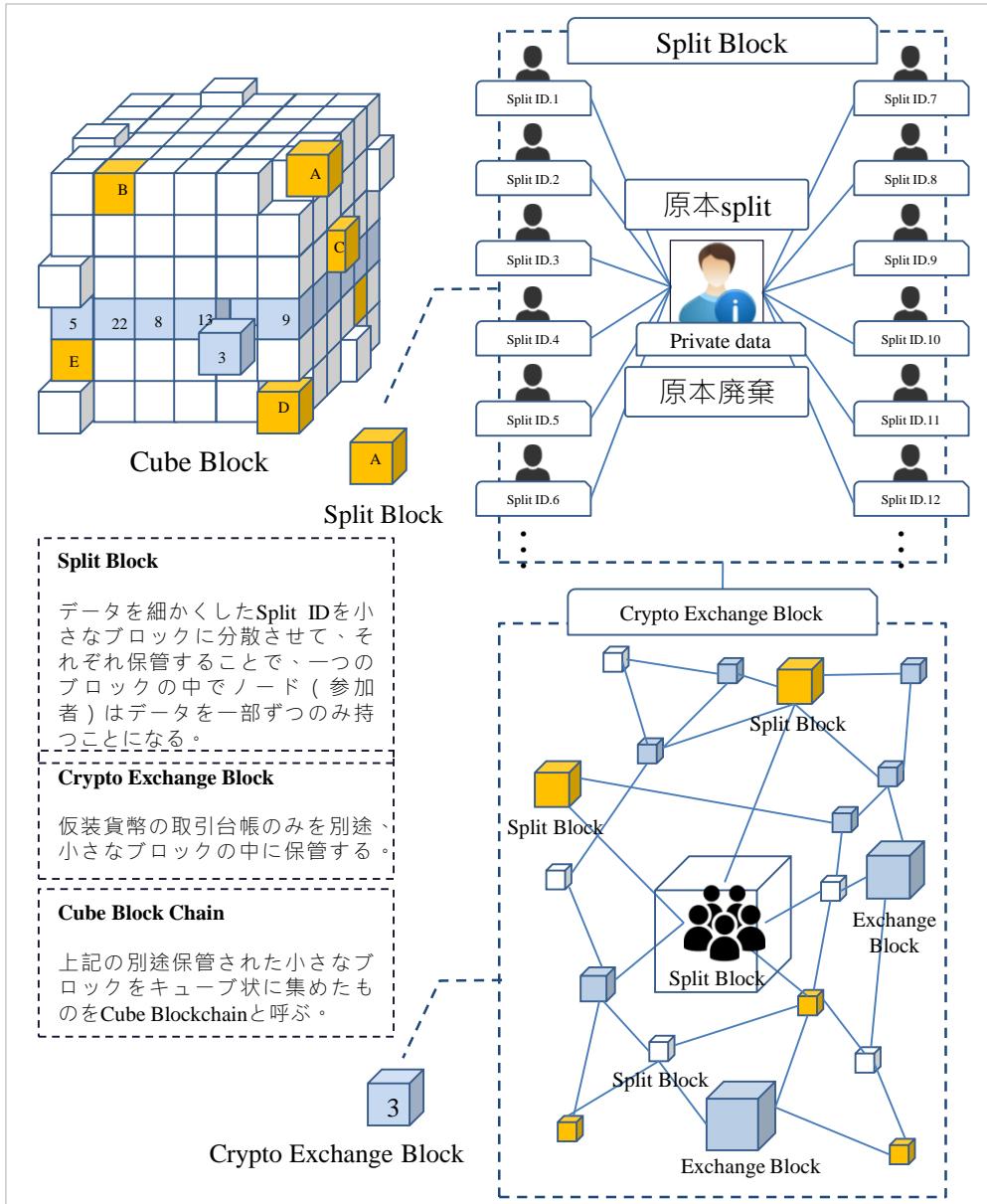


[個人を中心とする一時的な中央集約化]

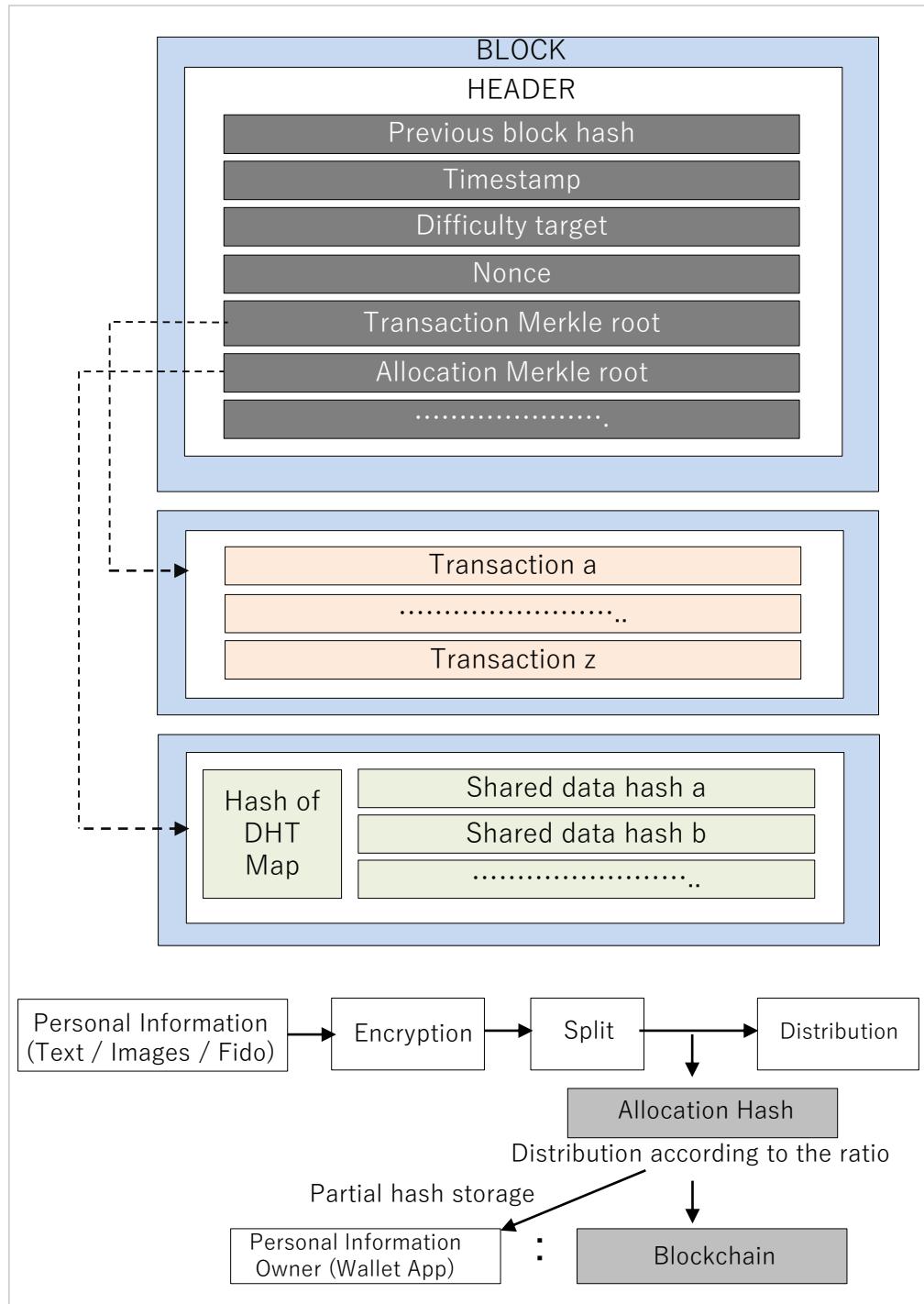
2.5 Split BlockとCrypto Exchange Block

固有のSplit IDは各ユーザー（参加者）の独自性を認定するのと同様に、それぞれ異なる暗号で暗号化されたデータを言います。このようなSplit IDを保有した一つの小さな参加者グループのブロックをSplit Blockと呼びます。

また、このような各ユーザー（参加者）たちのBAASトーカン取引が記録された全ての共有取引台帳は別途、Crypto Exchange Blockに保管されます。



2.6 Proof of integrity for Split & Distribute data



[Structure of BaaSid Block]



“Blockchain as a Service”

3

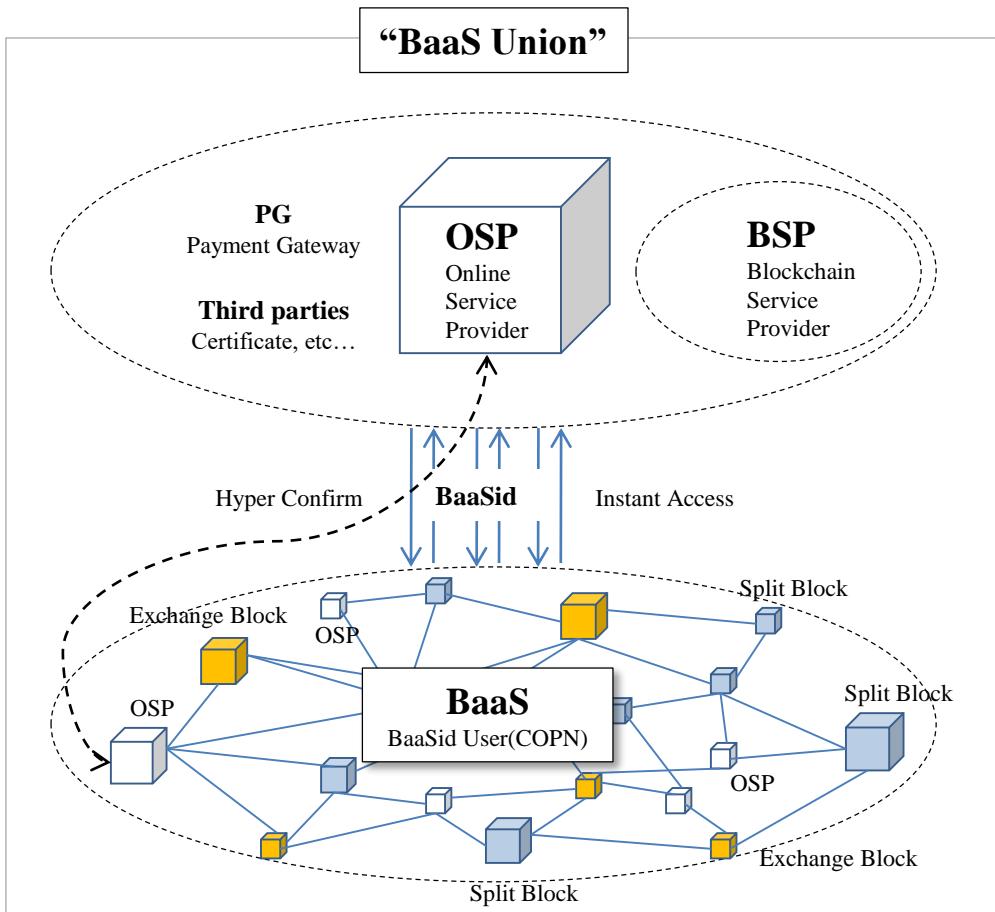
3. BaaS (Blockchain as a Service)

3.1 “BaaS Union”

BaaSidに参加している全ての個人あるいはインターネット上のサービス事業者、機関等が互いに保護し合ったり免責したりし、信頼し合いながら責任を取れる巨大な協力コミュニティかつ共同体となることを願い、これを実践することで得られる利益と利益の分かち合いについての基準と目標を提示します。

これは「BaaS」をベースとして既存のインターネット上のサービス事業者（OSP）、ブロックチェーンサービス事業者（BSP）、そしてCOPNに参加した全てのユーザー（参加者）が互いにつながり信頼しあえる巨大な協力コミュニティ「**BaaS Union**」を構築するために互いに信頼と均衡を維持してもらうためです。

このためにBaaSidに参加するOSP、BSP、ユーザー（参加者）全員が自らの役割と責任、活動、コミュニティへの連帯を通じて互いにメリット（Benefit）をもたらしあえるよう設計されています。



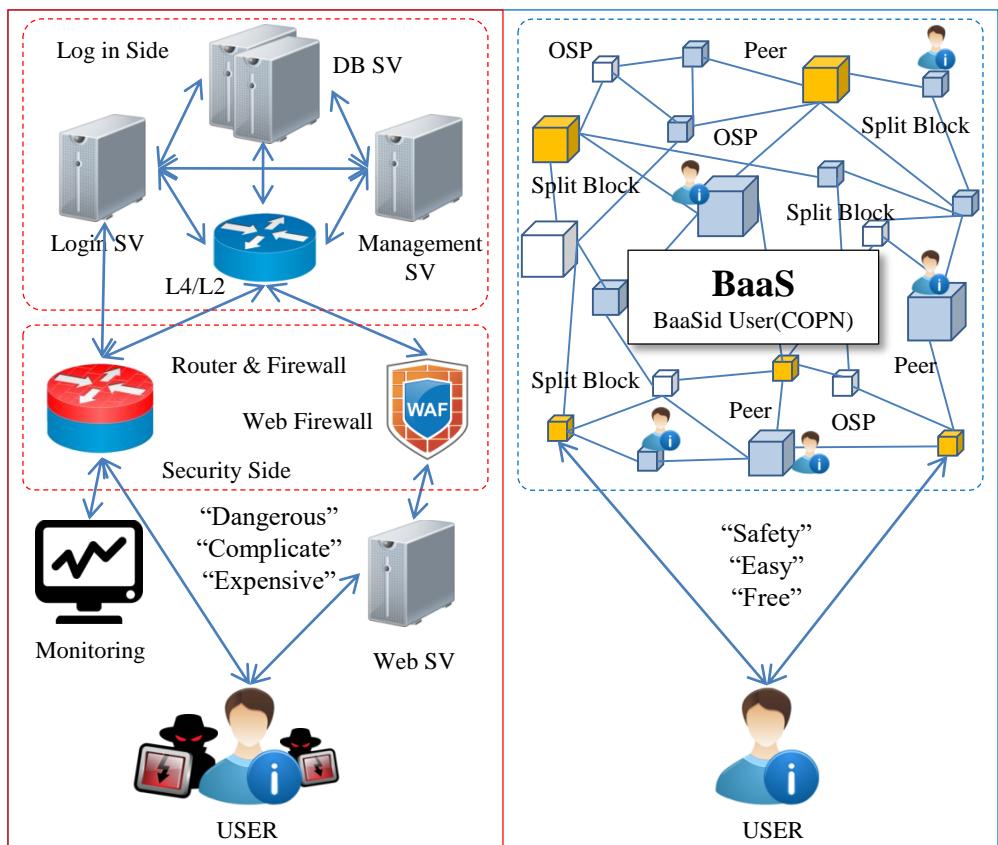
[「BaaS Union」で互いに信頼、責任、補償を分かち合う]

3. BaaS (Blockchain as a Service)

3.2 「BaaSid」 User And OSPのBenefit

Benefit.1) 莫大なデータベース&セキュリティシステム「構築費用と維持費の削減」

「BaaSid」のCOPN APIは全てのインターネット上のサービス事業者に提供されます。誰でも手軽に利用できるためインターネット上のサービス事業者はサービス提供のためにデータベースの構築・運営、セキュリティシステムの構築・運営のために莫大な費用を支出する必要がなくなります。



[一般的なインターネットサービスのシステム VS BaaSid 「BaaS」 インフラの比較]

Benefit.2) 個人情報流出に対する「法律上のリスクを除去」

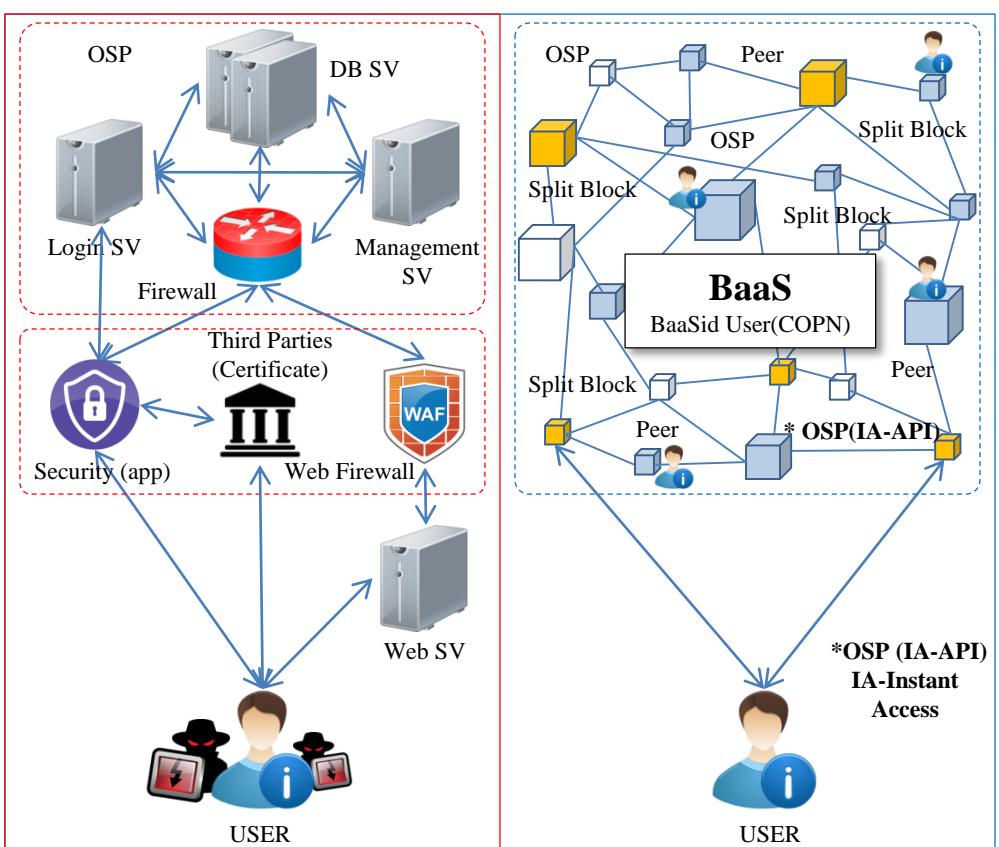
「BaaSid」のCOPN (Certification of Public Network) を採用する全てのインターネット上のサービス事業者は、データベースを別途構築して個人情報を受け取ったり保管したりしないため、ハッキング行為に遭ったり情報が流出してしまうような法律上のリスクが存在しなくなります。

Benefit.3) 会員登録手続きや認証段階が シンプルな「Instant Access API」

「BaaSid」のユーザー（参加者）は自分の指紋や虹彩などによる生体情報認証のために、一時的な中央集約化を通じて[暗号化>断片に分解>呼び出し>組合せ>復号化>生体認証]一度限りのアクセス権限（Instant Access）を持つことにより、会員登録やその他の認証段階を経ることなく、すぐにサービスにAccessできるようになります。これはサービスを供給する側にとって会員登録の段階で離脱していく多くの顧客を逃すことがなくなり、ログインや色々な認証のステップ、色々な認証を行うための各種データベースの構築、或いはAccessしたりと言うあらゆる面倒な手続きから解放されます。

すなわちインターネット上の全てのサービスをシンプルでスピーディに利用できるということであり、これによりマーケティング費用や会員登録を誘導するための様々な悩みから解放されるということを意味します。これはインターネットサービス事業者のマーケティング効率を高めることのできる最適のアイデアであり、新規登録だけでなく全てのサービス内でなされる行為の範囲内で、あらゆる認証段階を画期的にシンプル化したものとなり、高い信頼度を持つためサービス事業者の売上と利益を向上させることのできる重要な戦略となり得ます。

「BaaSid」のCOPN（Certification of Public Network）をベースとしたIA-API（instant Access API）を、2019年1Qには開発を完了し配布する予定です。

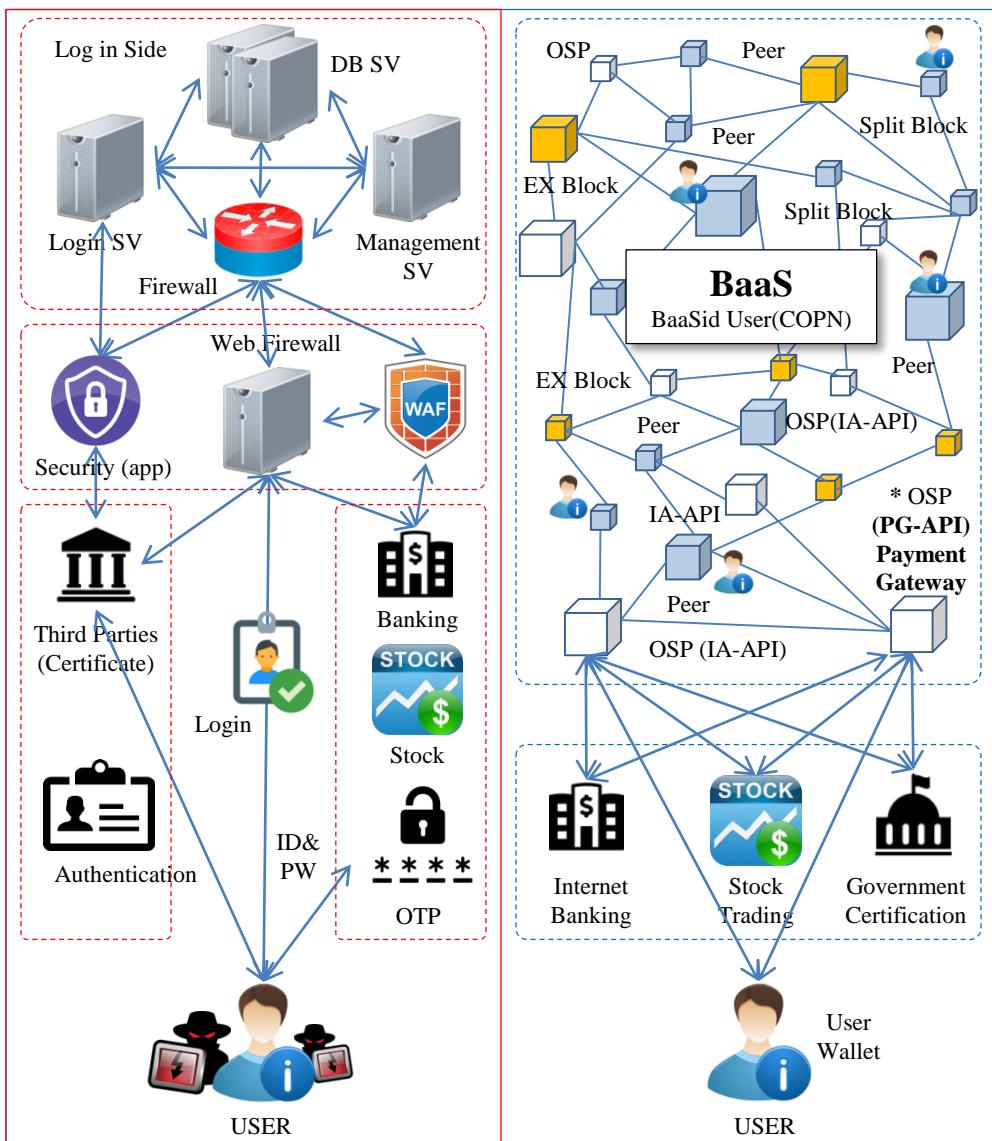


[一般的なログイン/認証 **VS** Instant Accessの比較]

Benefit.4) シンプルでスピーディな重要認証「Hyper Confirm API」

全ての銀行、金融、証券会社、オンラインショップ、その他のコンテンツの有料決済等では、個人情報に関する全ての第3の認証機関の認証（Certification）手続きとPG（Payment Gateway）社との連動など多くの複雑な段階が要求されています。

「BaaSid」はCOPN（Certification of Public Network）インフラを利用し、複雑で非効率な現在の重要な認証段階と手続きをよりシンプルで安全に解決できるH-C-API（Hyper Confirm API）を開発し提供する予定です。



[一般的なインターネット決済での認証 **VS** BaaSid Hyper Confirmの比較]



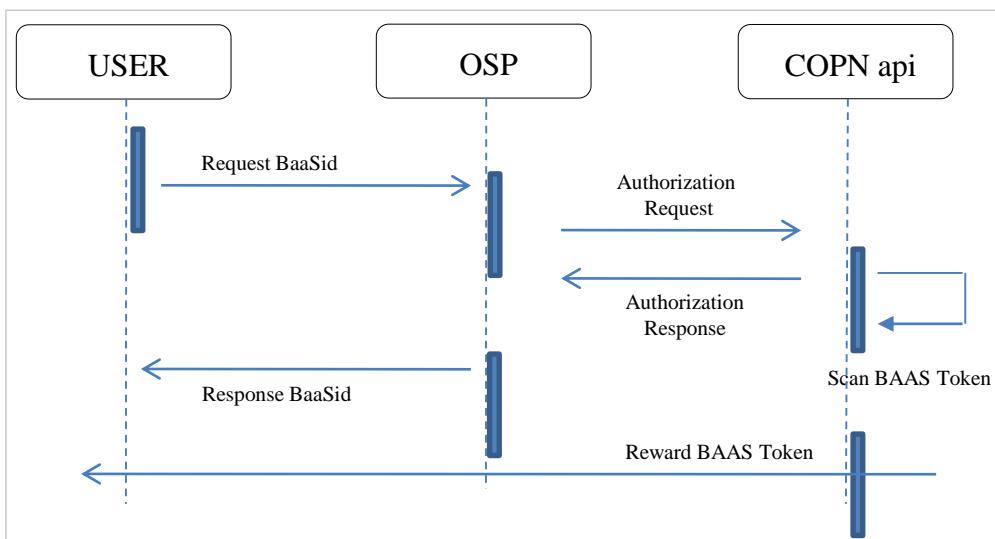
“No Original Copy”

4

4. 「BaaSid」 component

4.1. Instant Access API

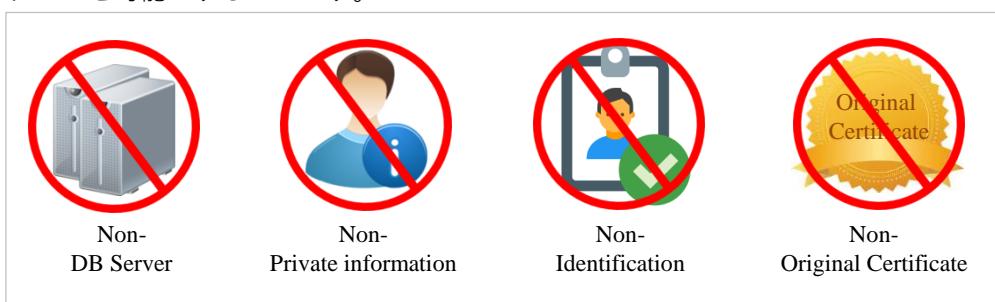
「BaaSid」はCOPN（Certification of Public Network）で個人情報を数千個の欠片に分解し、ユーザー（参加者）のノードにランダムに保管します。そしてこれを暗号化・復号化して全てのインターネットサービスへの一時的なログイン（会員登録不要の）と、インターネット上の重要な行為のための認証をシンプルでスピーディに行うサービスです。



[Instant Access API 構成図]

4.2. 「BaaS」 User Database

「BaaSid」の目標はインターネット上の全てのサービス事業者のデータベース、国家の認証機関、第3の認証機関、ユーザー保有デバイス等の全ての保存先等に如何なる原本も保管することなく、インターネットサービスへのインスタントアクセスを可能にすることです。



[BaaSidに存在しない4つの事項]

4.2.1 Non-existence of User Database

インターネット上のサービス事業者が運営するデータベースが存在しないため、完璧に近い脱中央集約化を実現できます。

4.2.2 Non-existence of Private information

自身の名前、電話番号、メールアドレス、口座番号、クレジットカード番号等の大切な情報等を細かく分解し最適化されたノードグループに分散して保管し個人情報の原本を残しません。

4.2.3 Non-existence of Identification

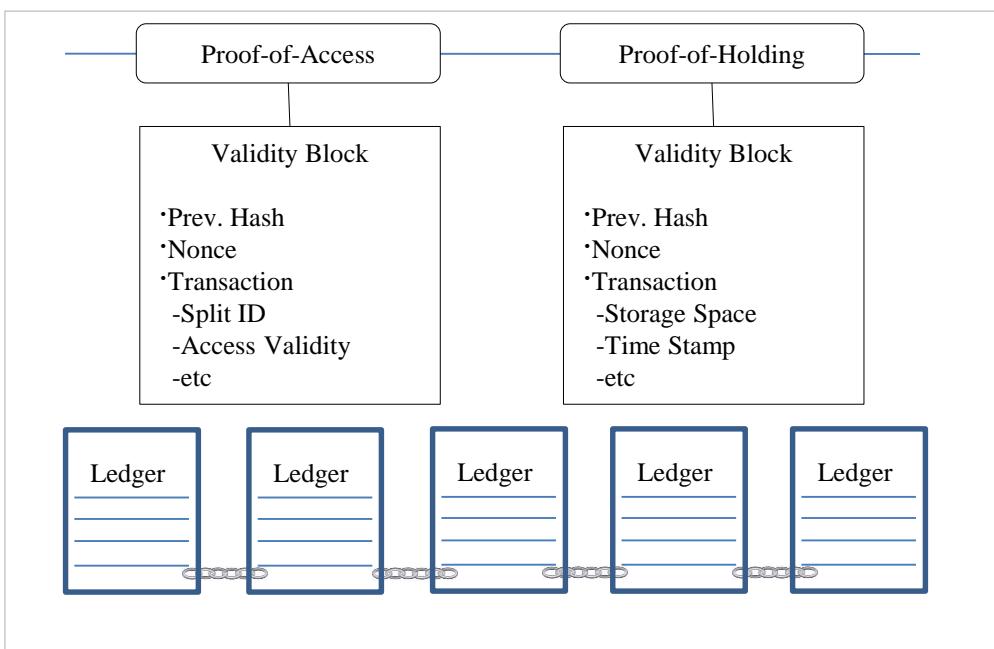
自身の身分証や、その他の身分を証明できる認証情報等がどこにも保管されないため、ハッキングや紛失のリスクから完全に免れることができます。

4.2.4 Non-existence Original Certificate

第3の認証機関のサーバ、ユーザー保有の全てのデバイス（Smart phone、PC、Tablet PC 等）に如何なる認証書や、それに関する原本データが存在しません。認証書や生体認識情報等をどこにも保存しません。

4.3. PoA(Proof of Access) & PoH(Proof of Holding)

「BaaSid」は基本的にイーサリアムのマイニングポリシーに従っていますが、別途に独特な証明方式も保有しています。それがPoAとPoHです。



[PoA(Proof of Access) & PoH(Proof of Holing)]

4.4 取引検証の主体 (Transaction validator)

「BaaSid」の全てのブロックグループ (Split Blcok, Exchange Block) のログインや認証など、あらゆるインターネット上の活動内容の内訳と取引台帳の取引検証にはマイナーとは別途の参加者が含まれます。

PoW(PoS)

PoWはイーサリアムのマイニング方式を（PoSに変更予定）そのまま利用し、ブロック生成の報酬としてBAASトークンを支給します。また取引手数料をPoWマイナーに別途支給します。

PoA(Proof of Access)

OSP (Online Service Provider) 或いはBSP (Blockchain Service Provider) はユーザー（参加者）のインスタントアクセスが行われた際、この手数料 (Fee) の一部を「BaaSid」のデータ保管提供者 (PoHマイナー) に支給します。

PoH(Proof of Holding)

COPN (Certification of Public Network) のIPFS (Interplanetary file system) でSplit ID (Split data) 管理のために別途ブロックを生成することでブロックが新たに生成された時、これに対する報酬としてBAASトークンを支給します。また、PoAで発生した手数料 (Fee) の一部をPoHマイナーに支給します。

4.5 BaaS (Blockchain as a Service)

「BaaSid」BlockchainはこのようなInternet上での情報を利用、或いは保存し、ログイン、決済、その他全ての認証手続き等を必要とする新たなデータベース (DB) を更に構築したり、運営（セキュリティシステム）することなく、ユーザー（参加者）間の「BaaSid」Blockchain networkを通じて信頼性の高い認証を手軽に提供できます。

これは個人を中心とする匿名のコミュニティで保管され、分解された自身の断片 (split ID) 情報を再び呼び出し組合せ、暗号化・復号化するため、これまでの様々な認証方法と認証システムとは全く異なる新しい形の分散、保存、暗号化・復号化認証を行うことができます。

つまり、全ての個人がつながった「BaaSid」Blockchainの共有ネットワークが一つの巨大な認証システムであるという意味であり、全ての企業及び機関が別途の中央集約化されたデータベース (DB) と認証権限の責任から解放され、ブロックチェーンの完璧な共有台帳の信頼性と同等に信頼度の高い「BaaSid」Blockchainベースの共有ネットワーク認証 (Certification of Public Network) によって全てのユーザー（参加者）へのサービス提供と認証活動を行えます。

このシステムによって、個人或いはユーザの大切な情報をサービス事業者のデータベースに保管せず、ユーザー間の「BaaSid」Blockchainベースの共有ネットワーク認証 (Certification of Public Network) を通じ、全てのサービス事業者のサービスを個人情報が露出することなく安全で便利に使える世界が開かれるようになります。

4.6 仕様

「BaaSid」のトークンである「BAAS」は、BaaSidに参加した全てのユーザー（参加者）が自ら作り上げた共有ネットワーク認証インフラの重要な交換価値です。

BAASの主な目的は、共有ネットワーク参加者がユーザー（参加者）としての全ての行為の価値に対して特典を得たり交換できるようにし、インスタントアクセスやHyper Confirm等を可能にすることです。

Token名	「BaaSid」トークン
Token 記号	BAAS
Tokenの種類	ERC 20
Token 発行主体	BaaSid International Lab (S) Pte Ltd.
総供給	10,000,000,000 BAAS
マイニング&証明方式	PoW / PoS & PoA / PoH



“Big data Platform based on BaaS”

5

5. Vision of "BaaSid"

5.1. Standard of BaaS

BaaSベースを活用する様々なサービスは、ブロックチェーンサービスとWeb、アプリケーションサービスの様々な連結性を提供することになります。

「BaaSid」はブロックチェーンサービスやWeb、アプリサービスをつないだり様々な形態のサービスをより安全でアクティブに行えるため、ユーザー（参加者）とサービス事業者を最高レベルの脱中央集約化による安全で手軽なインターネットサービスが展開される世界へ導けると確信しています。

インターネットが最初に発明されスタートして以来、インターネット内で多くの大切な行為や役割が抱えている多くの問題を根本的に解決できる解決策を提示できると考えています。

共有ネットワーク認証に参加する様々なサービス事業者とユーザー（参加者）は、「BaaSid」の安全性と利便性、効率性をベースに更に多様なサービスを共有ネットワークで誕生させ且つ拡大させることができます。

5.2 Internet Service Market

「BaaSid」の共有ネットワーク認証は、サービス事業者の最も大切な運営範囲であるデータベースや各種セキュリティシステム、各種決済サービス、その他全ての認証から自由になることを提供できます。これは国や団体、機関等が規制と規定を更に厳しくしている現在のインターネットサービス市場において効率性と自律性を享受できるベースとなり得ます。

機関と金融市場においても、個人の情報をより安全で簡潔に確認し認証を行い、銀行は個人の送金や振り込み等において、より安全で信頼性の高い認証を共有ネットワークを通じて実行することができます。

保険市場においては、「BaaSid」の共有ネットワーク認証は本人の認証を簡単にできるだけでなく、個人の病歴等の大切な情報をより安全に病院等と共有することができ、外部機関との様々なトランザクションに対して多様なシステム間の相互運用性 (inter-operability) を確保できます。

オンラインショッピングモール市場では、アクセシビリティの良さと簡単な購入手続き等によってより高い収益とユーザーを確保できるようになります。その他学校、病院、ヘルスケア等、個人が「BaaSid」の共有ネットワーク認証を必要とする様々なマーケットに幅広く応用させる事ができます。

5.3. Big Data Service 「BigBaaS」

オンラインサービスプロバイダ（OSP）は「BaaSid」からユーザー（参加者）の認証を供給され、各種ログインや決済、金融等の認証サービスを実行することになります。この時、OSPは独自のDBを保有しなくて良い特性のため、独自の各種プロモーションやイベント、その他DBを必要とするサービスを行えなくなります。

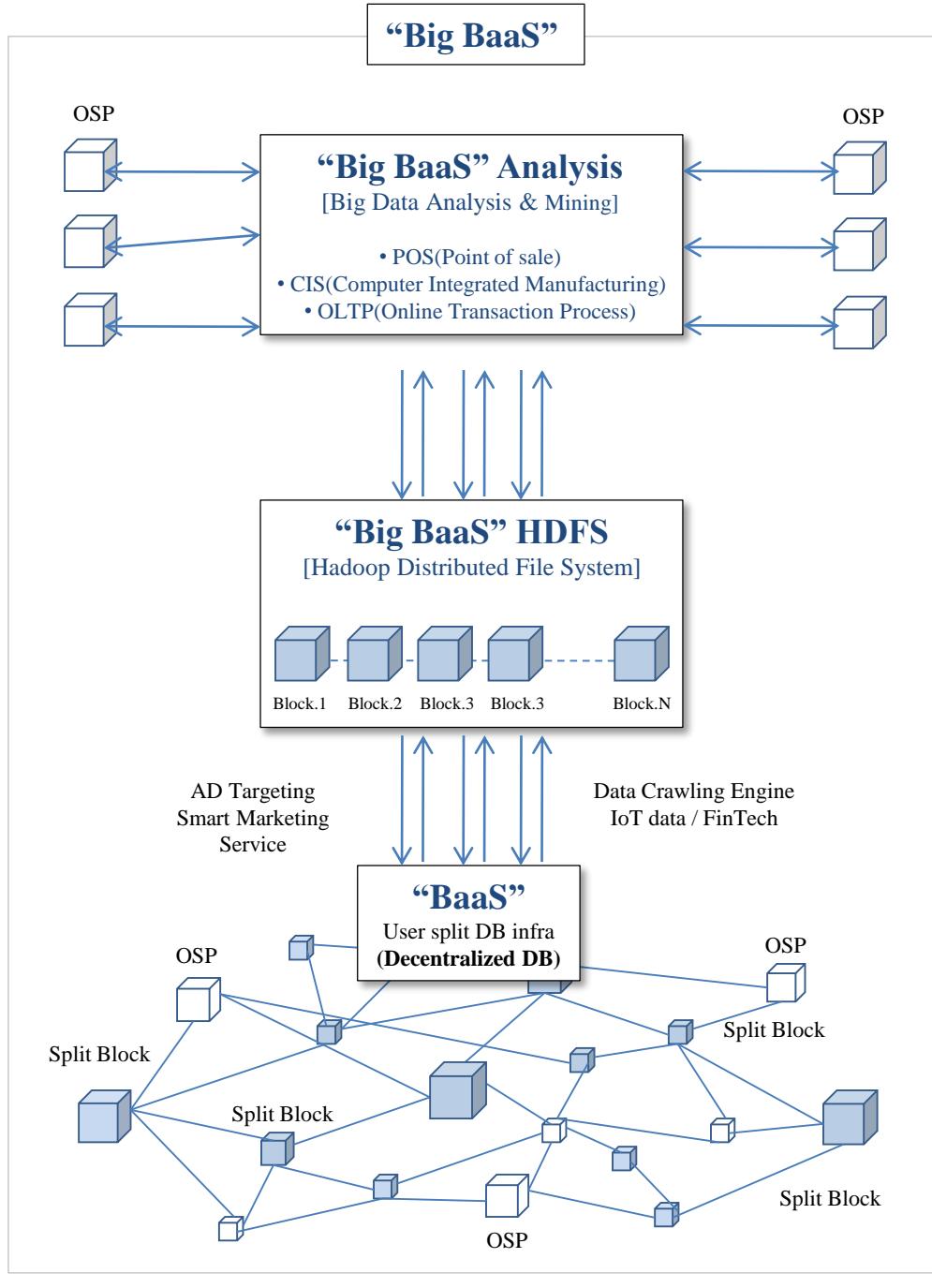
そこで「BaaSid」が開発、運営する「BaaS」ベースの「BigBaaS」は、ユーザー（参加者）のインスタントアクセス情報を集めた様々なアクションに関するデータと、該当するインターネットサービスに一度でもアクセスしたユーザー（参加者）にメールや各種お知らせサービス等をインターネット上のサービス事業者にリリースする予定です。

BaaS User（Node或いはDevice）がアクセスしたウェブサイトはどこなのか、何を閲覧したのか、どの位い留まつたのか、何を買ったのか、そしてどのようなアクションをとったのか等を、匿名性と個人のプライバシーを安全に保障しながら記録することができ、これをベースにした明確で有効なマーケティングが可能になります。このような強力なセキュリティを備えたBig dataサービス「BaaS UTMS」（BaaS User Target Marketing Service）は、「BaaSid」普及のスピードを加速させます。



[“BigBaaS” BaaS User Target Marketing Service]

5.4. Big Data Service “BigBaaS”



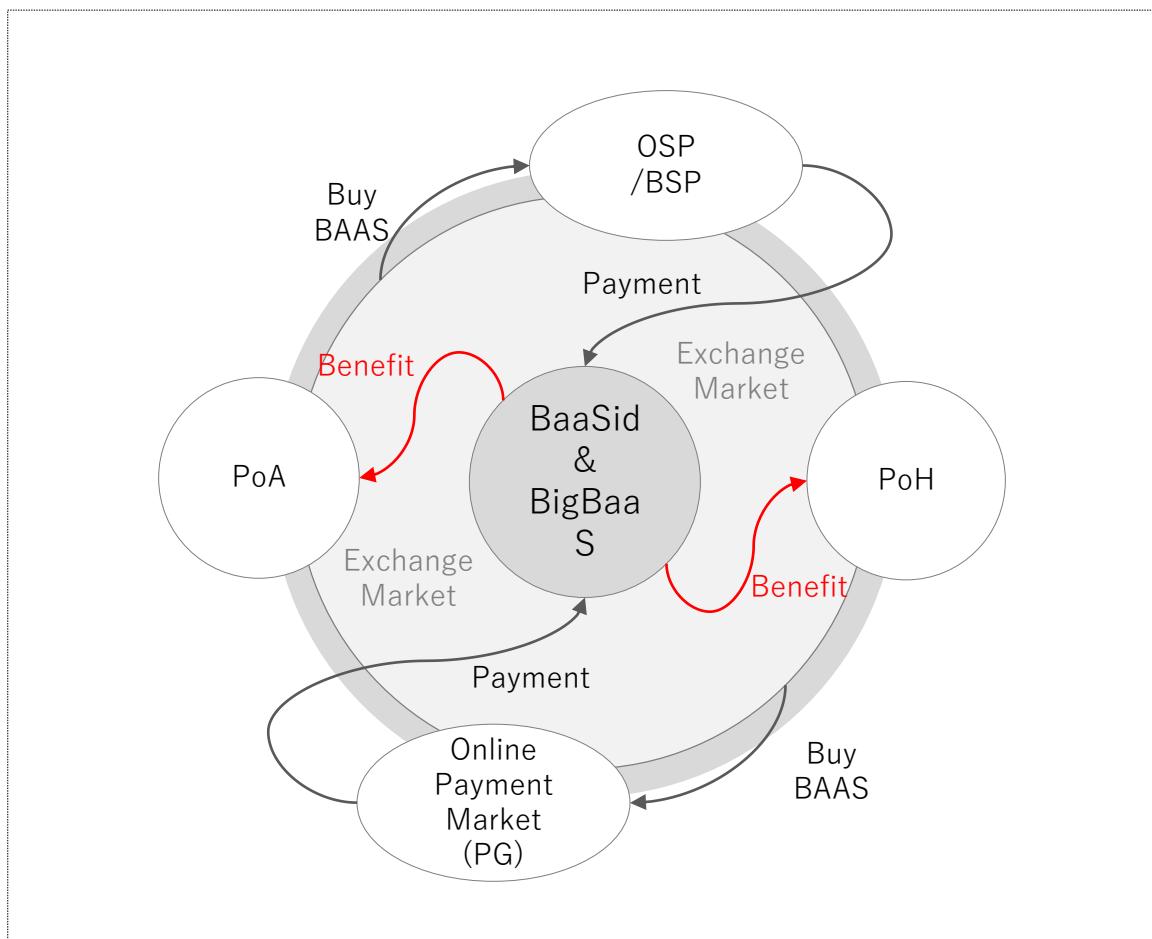
5.5. Use and Circulation of BAAS Token

PoA & PoH compensation system and BAAS token demand / supply

OSP (Online Service Provider) と BSP (Blockchain Service Provider) は BaaSid のユーザーとマイナー (PoA/ PoH) に BAS トークンを支給しなければなりません。その理由は、BaaSid インフラを使用することにより、データベースやセキュリティシステムの構築/運用コストを削減することができるからであります。

それだけでなく、OSP と BSP は BigBaaS を使用するためのコストを BAS トークンで支払わなければなりません。

また、BaaSid はオンライン決済市場である Payment Gateway の領域に重要な役割として位置付けする予定であります。



[BAAS トークンの使用と配布]

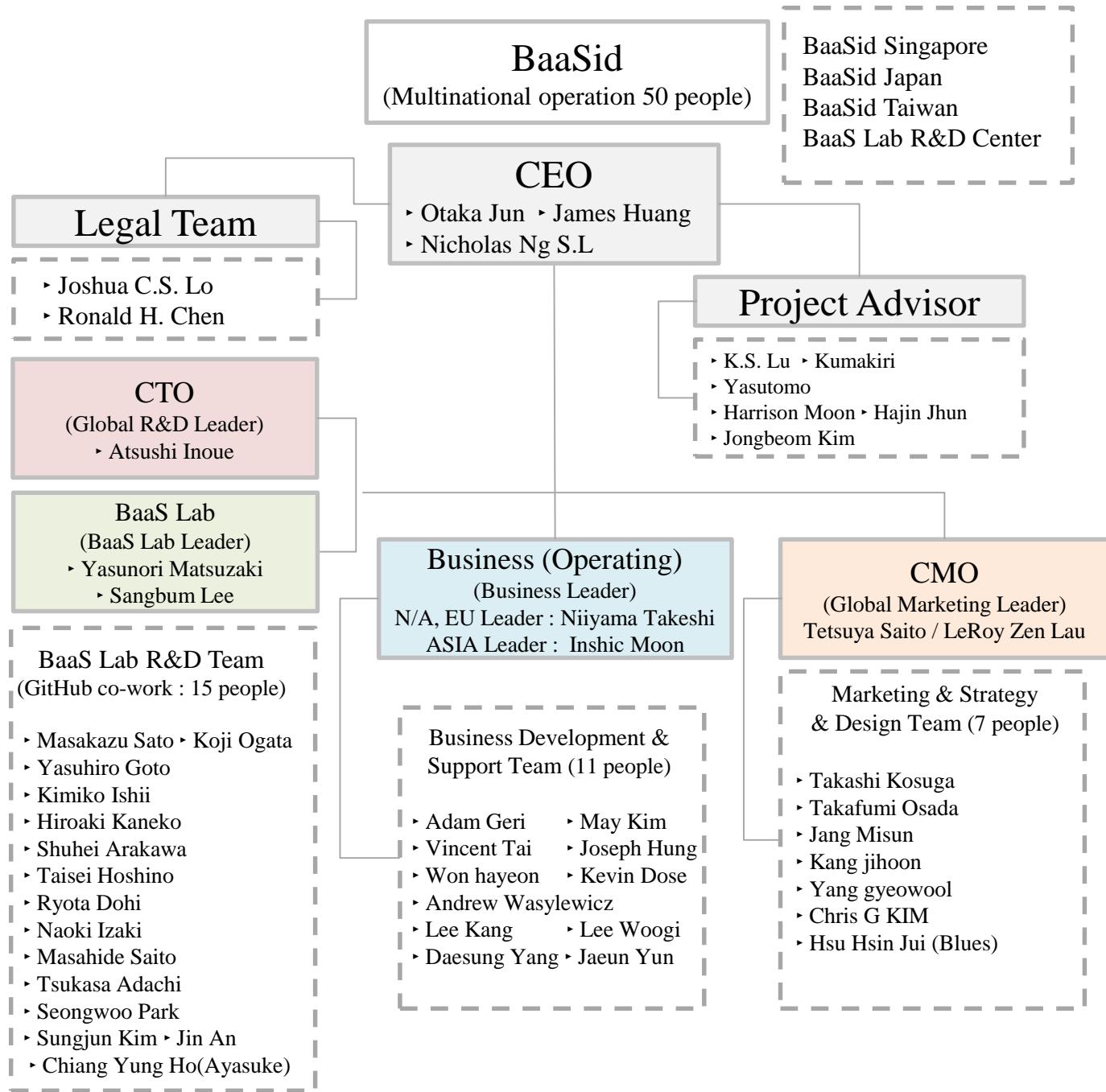


“We create what we need”

6

6. Team & Partners

6.1. Organization



6. Team & Partners

6.2 BaaSid's Business and Operating



Otaka Jun (JAPAN)

CEO of BaaSid Lab Japan
Chairman of PRO Group
In charge of Network design at NTT
HITACHI Nuclear Power, MITSUBISHI Nuclear Power, TOSHIBA
Nuclear Power Plant Design
Development of 3D-CAD System for Tokyo Gas application drawing

Linked in <https://www.linkedin.com/in/%E6%BD%A4-%E5%A4%A7%E9%AB%98-54167456/>

James Huang (CHINA/ASIA)



CEO of BaaSid Lab Taiwan
CEO of Leadhope Inc.
CEO of Taiwan Index Inc. (TWSE)
AT&T(USA) Technical Assistant center manager,
AT&T(ChengDu) Technical manager
Taiwan Mobile Company senior Director of project department
ChongHong Cable TV company VP / chief engineer
Japan GONZO Rosso Board Director / CEO of Global business

Linked in <https://www.linkedin.com/in/james-huang-%E9%BB%83%E5%95%9F%E8%AA%A0-11001ab2/>



Nicholas Ng S.L. (SINGAPORE/EU)

President of BaaSid Lab Singapore
Chairman, Leadhope Philippines Inc
CEO, Neosonics Network
Director, BioWave Korea / Global Business Development

Linked in <https://www.linkedin.com/in/nicholas-ng-swee-lian-16288917/>



Niiyama Takeshi (JAPAN/USA)

BaaSid USA/EU Business Leader
Security Expert more than 17 years
Ph.D in 2016 Technology and Innovative Management (TIM) from Doshisha University
M.S.E in 2006 Information Security from Carnegie Mellon University
Assistant CISO of Nippon Telegraph and Telephone (NTT)
Business Analyst and Product Manager of Intel Security (McAfee)
The first Japanese VIP guest speaker of Cyber Security Romania Sibiu 2014
The Smartphone Application Privacy Policy Dissemination and Verification Promotion Task Force Member
(Ministry of Internal Affairs and Communications was Observer) 2014

Linked in <https://www.linkedin.com/in/takeshi-niiyama-52783b48/>

6.2 BaaSid's Business and Operating



Joseph Hung (ASIA)

CEO, InterServ International Inc. (TSE)
Chairman and CEO, Game Storm Co. Ltd.
VP and GM of Telecom, Gold sky Digital Co. Ltd.
VP of Strategic Development, Clarent Telecom
Director of IT, Pacific Broadband Co. Ltd.
Established global telecommunication data hub.

Linked in <https://www.linkedin.com/in/hung-joseph-48968728/>



May Kim (KOREA/ASIA)

CEO of Certon Co.,Ltd
Chairman of BoD, dear Lab., LTD
Director of KBIPA
(Korea Blockchain Industry Promotion Association)
CEO of Aston Project



Adam Geri (Australia/EU)

Vice President of Hcash Foundation / Founding member of the Hcash Foundation. Specialist in business management and business development
Gaining collaborations between governments
“I am looking forward to the future! The world is about to become a much better place, finding real solutions for real world issues due to the development of Blockchain technologies, the most disruptive technology that has been seen in our life time”

Linked in <https://www.linkedin.com/in/adam-geri-94550068/>



Vincent Tai (SINGAPORE/EU)

Director, SRV Trading Pte. Ltd.
Derivatives Trading Director, China Evernive Investment Pte. Ltd.
Director, Derivatives Trading, DBS Vickers Securities Pte. Ltd.
Assistant Vice President, ABN AMRO Futures (Singapore) Pte. Ltd.
Assistant Vice President, Refco (Singapore) Pte. Ltd.
Co-Founder, KYCK!
Member of Singapore Institute of Directors

6.2 BaaSid's Business and Operating



Hayeon Won (KOREA)

CEO of PRO Global Co Ltd.
Vice president of Korea Network Technology (IDC)

Linked in <https://www.linkedin.com/in/proglobal1/>



Inshic Moon (KOREA/ASIA)

BaaSid Asia Business Leader
Director of PRO Japan
KBIPA(Korea Blockchain Industry Promotion Association)
Chairman of international cooperation committee
Advisor of Aston
CEO of Korea Network Technology (IDC)
Director of BUGS Music (KOSDAQ)
Online Game Producer of Playwith(YNK Korea) (KOSDAQ)

Linked in <https://www.linkedin.com/in/inshic-moon-134429155/>



Kevin Dose (China/USA)

Business Development Manager, BaaSid Singapore
Global Director, Hyundai Infracore
Senior Account Manager, TLScontact
More than 10 years of work experience at several global companies (Volkswagen, Teleperformance etc.) in China, Australia and Korea

Linked in <https://www.linkedin.com/in/kevin-dose-36319950/>



Andrew Wasylewicz (Australia/EU)

Business Development Manager at Hcash / Business Development Manager at Hcash.
Masters of Applied Science and has a background in strategic roles within the insurance and superannuation industries. He understands the ongoing challenges these companies face with storing and managing customers identification. He is excited about the real world application Blockchain technology has to offer and sees the enormous advantage BaaSid has.

Linked in <https://www.linkedin.com/in/andrew-wasylewicz-962b2247>

6.2 BaaSid's Business and Operating



Woogi Lee (KOREA)

Business Department of Changse
Legal Affairs Team of Sunhanid

Linked in

<https://www.linkedin.com/in/%EC%9A%B0%EA%B8%B0-%EC%9D%B4-9a5a53a6/>



Kang Lee (CHINA)

Global Business Team -- China Country Manager, PRO GLOBAL
Head of Game Business Division, Korea Network Technology
China Project Manager, Korea CCR Inc.

Linked in

<https://www.linkedin.com/in/qiang-li-499153167/>



Daeseung Yang (KOREA)

Director of Blockchain Dev Team, BaasLab
Director of Blockchain Dev Team, Nextinnovator
PMO(Project Management Officer) of SHUB/SCAP Project, kt
PMO(Project Management Officer) of IOT project(Intelligence Home), Samsung SDS

Linked in

<https://www.linkedin.com/in/%EB%8C%80%EC%8A%B9-%EC%96%91-06b0aab7/>



Jaeun Yun (KOREA)

Business Management manager of KOSDAQ listed company.
Being still within a growth process in terms of personnel affairs and financial accounting,
We are very honored to be able to work together with you in this new IT field called Blockchain.

Linked in

<https://www.linkedin.com/in/jaeun-yun/>

6.3 BaaSid's R&D / BaaS Lab



Atsushi Inoue (USA)

CTO of BaaSid

PhD in Computer Science and Engineering, University of Cincinnati (USA)

Professor of Information Technologies and Business Analytics,

Eastern Washington University (USA)

Professor of Information Assurance, Carnegie Mellon University (USA)

Senior Research Scientist, Laboratory for International Fuzzy Engineering (Japan)

Research Scientist, HITACHI Ltd. (Japan)

LinkedIn <https://www.linkedin.com/in/inoueatshij/>



Jin An (USA)

CTO/Co-founder of Cyflyer Inc. USA

General Manager of Imua Management USA

Director of Metro Pacific Inc.

General Manager of Taeryoung Development

University of Manoa, Computer science

LinkedIn <https://www.linkedin.com/in/jin-an-029292163/>



Masakazu Sato (JAPAN)

The General Manager of System Development Department of SI Project Headquarters at P.R.O corporation

The CEO of PRO ID Inc of PRO Group

Involved in various system development such as CAD system development, large-scale EC site development, etc

Responsible for Tohoku SI Division at present



Yasunori Matsuzaki (JAPAN)

Leader of BaaSlab R&D Center

PRO development leader

Development experience 14 years

Work experience as environmental consultant / GIS engineer

6.3 BaaSid's R&D / BaaS Lab



Masahide Saito (JAPAN)

The CEO of necomata Inc. at P.R.O Group
Join the COI TOHOKU and create a Smart Chair
Developed upper motion function measurement system using Kinect V 2
in collaboration with Tohoku University
Developed a tax return system and voting acceptance system for election



Sangbum Lee (KOREA)

CEO of BaaSlab Korea.
I have experienced a lot of IT related development almost 20 years, and leading project, managing business and finance management are my skills. Data security solution, peer to peer solution and blockchain technology are my strong point of IT related development experience. It would be my best experience that I can join with BaaSid project and I will lead BaaSid project to global success.



Yung Ho Chiang (Taiwan)

Previous CTO of Soft World which is the No.1 game company in Taiwan. He is proficient in coding and server application. More than 3 0 years experience of programing , 20 years experince for game in online game industry , and 6 years in IDC industry.



Sungjun Kim (KOREA)

DIRECTOR of PRO Global Co Ltd
R&D Center chief of Monster Holdings Co Ltd
Developer of Korea Network Technology (IDC)
Seoul national university of Technology, Department of Industrial Engineering

Linked in

<https://www.linkedin.com/in/sungjun-kim-93a018167/>

6.3 BaaSid's R&D / BaaS Lab



Yasuhiro Goto (JAPAN)

Engineer of PRO Japan

News distribution system for communications company

Business Web System for electric maker

Engaged in development of client & server system for distribution

Years of experience: 15 years



Seongwoo Park (KOREA)

DIRECTOR of PRO Global Co.,Ltd

Manager of Korea Network Technology Internet Data Center

System Engineer of SmileServ Internet Data Center

Linked in

<https://www.linkedin.com/in/seongwoo-park-923172146/>



Koji Ogata (JAPAN)

19 years of development experience

Engaged in all processes in package · web · mobile development

Building infrastructure as well



Kimiko Ishii (JAPAN)

Belongs to P.R.O. Tohoku SI Project Headquarters

Engaged in developing web system using PHP at present

6.3 BaaSid's R&D / BaaS Lab



Naoki Izaki (JAPAN)

In addition to Web application development experience with the Java framework

Experienced designing, developing and bridging with offshore of the financial system with C ++

Interested in blockchain and big data in outside the business

Willingness to work ambitiously on everything



Shuhei Arakawa (JAPAN)

Belongs to System Development Department of SI Project

Headquarters at P.R.O corporation

Participating in the development of WEB APP mainly on iOS



Tsukasa Adachi (JAPAN)

The CTO of necomata Inc. at P.R.O Group

Involved in machine learning model construction by myoelectric measurement

Developed upper motion function measurement system using Kinect V 2 in collaboration with Tohoku University

Developed key unlock application with smartphone



Hiroaki Kaneko (JAPAN)

The Project Leader of System Development Department of SI

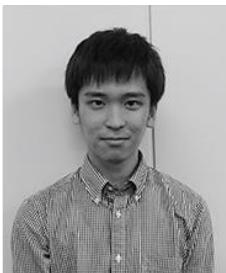
Project Headquarters at P.R.O corporation

The Leader of Server log analysis system development.

The Leader of Electronic money settlement system development

The Programmer of Financial system development

6.3 BaaSid's R&D / BaaS Lab



Taisei Hosino (JAPAN)

Graduated from the Faculty of Economics, Hosei University
Smartphone App Engineer



Ryota Dohi (JAPAN)

Web application development using the Java framework
Having an extensive experience of Java language, such as Android
native application development
A process that is particularly good at detailed design and
implementation

6.4 BaaSid's Marketing



LeRoy Zen Lau (SINGAPORE/EU)

CMO Of BaaSid

Director, DMG & Partners Securities Pte Ltd.

Director, RHB Securities Singapore Pte Ltd.

Capital raising experience for Listed companies and bringing companies to IPO as a Senior Dealing Director.

LinkedIn <https://www.linkedin.com/in/leroy-zen-lau-%E6%9B%BE%E5%88%98%E5%B3%99%E9%9B%84-ba95b815a/>



Takafumi Osada (JAPAN)

Manager of Business Partners, Inc

Japan Country Manager of DNO-Group

Sales Director of Billing System Corporation (Tokyo Stock Exchange, Mothers)

LinkedIn <https://www.linkedin.com/in/takafumi-osada-35a47172/>



Misun Jang (JAPAN/KOREA)

Head of Blockchain Business Team, PRO

MBC C&I (Content & Infrastructure) Special Producer of contents business team production

Ewha Womans University Graduate School of Policy Science / Master's degree
Chugye University of Arts Graduate School of Culture and Art Administration /
PhD in progress

LinkedIn <https://www.linkedin.com/in/misun-jang-5648aa164/>



Tetsuya Saito (JAPAN)

CMO of BaaSid

Ph.D. / State University of New York at Buffalo in USA

Associate Professor of College of Economics, Nihon University

Master of Economics(Kobe University)

Bachelor of Business Administration(Kwansei Gakuin University)

6.4 BaaSid's Marketing



Takashi Kosuga (JAPAN)

Director of PRO (App producer)
Operating officer of IMAGICA group
Web service producer of CCC group
Virtual reality system planner of JFE group
Space development engineer of TOSHIBA group

LinkedIn <https://www.linkedin.com/in/takashi-kosuga-47746615a/>



Jihoon Kang (KOREA/ASIA)

Ericsson Digital Service consultant
Ericsson DCS(Data Integrity Assurance as a Service)
IoT Cloud & Feature as a Service
Softbank Commerce Korea Cloud consultant & BDM
HP / Citrix / Data Domain consultant

LinkedIn <https://www.linkedin.com/in/jihoon-kang-b2520643/>



Hsu Hsin Jui (Blues) (Taiwan)

18 years work experince of online game , successful project manager and team leader of Soft world in Taiwan. Many experinces for online game product launch and success in Taiwan. He knows very well about how to make a project planning and execute smoothly.

LinkedIn <https://www.linkedin.com/in/%E5%80%96%E7%91%9E-%E8%A8%B1-b64790a4/>



Gyeowool Yang (KOREA)

Global Business Team -- Japan Country Manager, PRO GLOBAL
Japanese Literature Graduate with a lot of interest in Blockchain Technology
Excited about the BaaSid project and currently working hard to make this project a success.

LinkedIn <https://www.linkedin.com/in/gyeowool-yang-8a2687160/>

6.4 BaaSid's Marketing



Chris G. Kim (KOREA)

PISHON | Design Agency | CEO
GNP LINK | Advertising Agency | Design Director
STUDIO RYU | PHOTO STUDIO | CEO
WELCOMM DESIGN HOUSE | Design Agency | CEO
IDO COMMUNICATIONS | Advertising Agency | Design Director
ADVERTISING WORLD | Advertising Agency | Senior Designer
WELCOMM PUBLICIS WORLDWIDE | Advertising Agency | Designer

6.5 BaaSid's Advisor



K.S. Lu (ASIA)

Chairman of Leadtek Research Inc.(TWSE)
Awarded National outstanding SMEs
The president of Chinese Taipei Football Association
The executive committee of East Asian Football Federation / The marketing committee of Asian Football Confederation

 <https://www.linkedin.com/in/ks-lu-a13097b/>



Kumakiri Yasutomo (JAPAN)

Vice President(COO) of Creators Guild.Co,ltd(Impress Group)
CEO of Creators Guild.Co,ltd(Nippon Group)
Director of Electronic publication
Director of Web planning & production
Manager of Advertising dep(international telecommunications company)



Jongbeon Kim (KOREA/ASIA)

MBA from Yonsei Univ. in Korea
CEO of JNDS
Vice President(CFO) of OCON(Animation Company)
Director of Venturelife(Investor, PEF)
Director of Internetiz(Venture Start-up Incubator)
PR and Public business planning for LG-CNS(System Integrator)

 <https://www.linkedin.com/in/김-종범-304501164>



Harrison Moon (USA)

PH.D / MBA from Yonsei Univ. in Korea
Bachelor of Architecture from S.N.U. (Seoul National Univ.) in Korea
President of Pharos Asset Co., Ltd.
Fund manager in Conus Asset Management Company.
Vice president of CB Richard Ellis
Strategic planning team for SAMSUNG C&T (KOSPI)
CMC,MSS, Korea / CPM , IREM, USA

6.5 BaaSid's Advisor



Hajin Jhun (KOREA/ASIA)

Chairman of the KBA self-regulatory committee
(Korea Blockchain Association)
CEO of Siti Plan, Inc.
Chairman of S-Life Forum
PhD. of Real Estate Studies
19th Member of the National Assembly (KOREA)
Former Chairperson of Digital Party of Sunnuri Party
Former CEO of HANCOM(KOSDAQ)
Former Vice President of Venture Business Association

6.6 BaaSid's Legal Support



Ronald H. Chen (CHINA/ASIA)

MBA, JD

Director of T-Star Telecomm Corp.

Supervisor of the Board, CSun Manufacturing LTD.

Independent Director of Advancision Corp.,Cayman



Joshua C.S. Lo (CHINA/ASIA)

MSEE, JD

Independent Director, Redwood Group Ltd. (Taipei Exchange)

Independent Director, Shinkong Life Insurance, (TWSE)

6.7 Global Business Partners

「BaaSid」プロジェクトのビジョンを共有し、協力するグローバルパートナーのご紹介。

We will release the name of Companies when the ICO ends

JAPAN

Hidden Partners

“Company-A” - Crypto Currencies Exchange
“Company-B” - Media & Publisher Group
“Company-C” - Security Company
“Company-D” - Development & Modify Group
“University-E” – LAB & Research Center

CHINA

Hidden Partners

“Company-A” - Crypto Currencies Exchange
“Company-B” – Investment Company
“Company-C” - Entertainment Company
“Company-D” - Mobile Game Company
“University-E” – LAB & Research Center

KOREA

Hidden Partners

“Company-A” - Crypto Currencies Exchange
“Company-B” – Blockchain Development Company
“Company-C” - Security Company
“Company-D” - Development & Modify
“University-E” – LAB & Research Center

TAIWAN

Hidden Partners

“Company-A” - Crypto Currencies Exchange
“Company-B” – Payment Gate way Company
“Company-C” – Bank / Insurance Company
“Company-D” - Hardware Company
“University-E” – LAB & Research Center

SINGAPORE
& etc

Hidden Partners

“Company-A” - Investment Company
“Company-B” – Global Marketing Company
“Company-C” - Security Company
“Company-D” - Telecom Company
“University-E” – LAB & Research Center





“The Beginning of new standard”

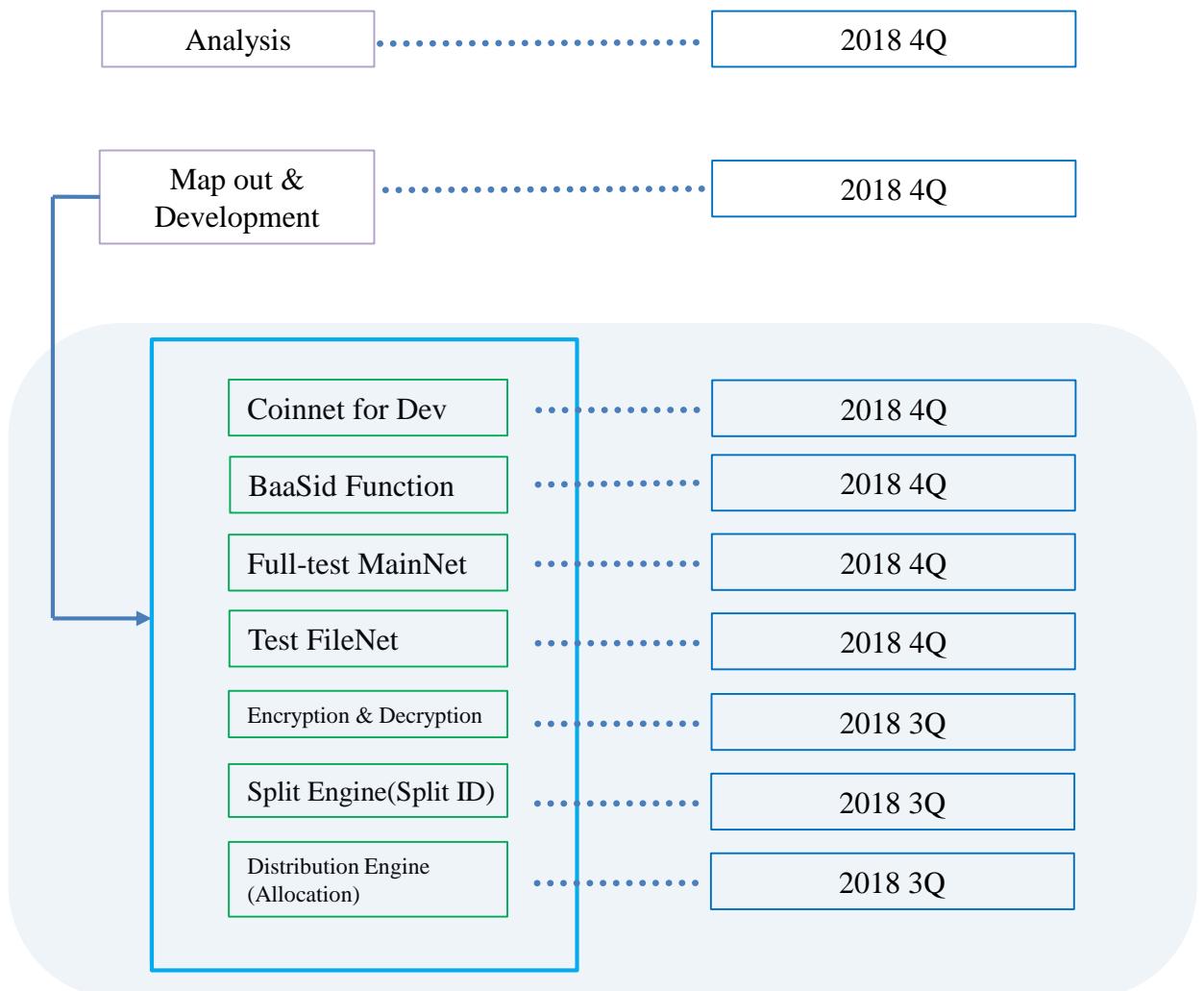
7

7. Roadmap

項目	内容	スケジュール
ICO	Pre-sale & ICO	2018 / 1~2Q
GitHub	Private GitHub open	2018 / 2Q
BAAS listing	暗号通貨取引所上場開始	2018 / 3Q
Encryption (Decryption)	個人情報の暗号化・復号化	2018 / 3Q
Split Engine (Split ID)	暗号化された個人情報の断片の分散エンジン	2018 / 3Q
Distribute Engine (Allocation)	暗号化されたSplit IDの分散エンジン	2018 / 3Q
Wallet App	Connected Test Net(POW)	2018 / 3Q
Combination Engine	暗号化されたSplit IDの組合せエンジン	2018 / 4Q
POA / POH	証明及び検証(MainNet Test)	2018 / 4Q
Instant Access Engine (OTP)	ワンタイムインスタントアクセスのためのOTP	2018 / 4Q
Instant Access API (for Provider)	インターネットサービス供給側に提供するIA-API (Instant Access API)	2019 / 1Q
POS	MainNet 常用化	2019 / 1Q
Token / Coin Swap	BAAS Coin Swap	2019 / 1Q
Hyper Confirm API	供給側及び第3の認証機関と PG(Payment Gateway)に代わってユーザー(参加者)と供給側に提供する認証API	2019 / 2Q ~ 3Q
BigBaaS	BaaS User Target Marketing Service (Big Data Service)	2019 / 4Q

7.1 Simple WBS

Simple Work Breakdown Structure of PoA/PoH (MainNet)



7.2 BAAS Token 発行

「BaaSid」は総計100億個のBAAS Tokenを発行する予定です。

BAAS Token share	BAAS	Share	Lock up
Sale (Pre-sale & ICO)	1,215,000,000	12.15%	No Lock up
Private Sale (BaaSid Partner Sale)	400,000,000	4%	No Lock up
Private Sale (Strategic Partner Sale)	1,800,000,000	18%	Lock up (1 year)
Team(Advisor)	1,000,000,000	10%	Lock up (1 year)
Business Cooperation (Lockup quantities are depends on circumstances)	1,485,000,000	14.118% 0.732%	Lock up (1 year) No Lock Up
Founder	2,000,000,000	20%	Lock up (1 year)
Mining / Reserve	2,100,000,000	21%	Lock up (1 year)
Total Supply	10,000,000,000	100%	Lock up 83.118% No Lock Up 16.882%

FounderとTeamは1年間、BAAS トークンを販売できません。

7.3 開発基金の使用

「BaaSid」のICOで造成された基金は下記のように使われます。

1 st Pre-sale	
マーケティング	20%
Reserve	70%
運営	5%
法律 / 行政	5%

2 nd Pre-sale & ICO	
「BaaSid」コアエンジンの開発	30%
運営費用	10%
マーケティング / プロモーション	10%
Strategy Partners	10%
Biz Development	20%
Reserve	20%

7.4 「BaaSid」公式チャンネル

「BaaSid」は、<https://baasid.com/> <https://baasid.io> 上でのみコミュニケーションを行いますので、他のチャンネルは全て「BaaSid」とは直接的な関係はありません。

公式チャンネルでない他のチャンネルを利用した際は詐欺、或いは無許可などの違法な受信行為の疑いがあると思わなければならない。

ホームページにてトークン販売に関する全ての内容を発表する予定であり、ICO及び事前販売の際には「BaaSid」は如何なるEメールやSMS、電話、その他ホームページに表記されていないイーサリアムアドレスなどを別途運営しない。

7.5 BAAS トークンの上場

BAAS トークンはICO終了後、90日以内に世界中の様々な取引所に順次上場する予定です。完成度の高い取引と流動性のために最大の努力を注ぎ、なるべく早く取引所に上場できるよう努力します。

7.6 持続的な最適化

「BaaSid」は計画されたロードマップに沿って誠実に日程を遵守します。

7.7 法的告知

同白書の目標は、本「BaaSid」プロジェクトを通じてインターネット上のサービス事業者のデータベースと、その他の中央集約化されて保存されたり、またどこかに存在する全てのユーザの個人情報をブロックチェーンと非ブロックチェーンの共有ネットワークをベースとして、個人が自ら一時的な中央集約化を許可しインスタンス認証を行うことで、全ての潜在的なインターネットサービス事業者がユーザーのログインと会員登録の手続き、ショッピング時の決済認証、インターネットバンキング認証やその他あらゆるインターネットサービスにおける重要行為に関し、BaaSインフラにて安全でスピーディな認証サービスを提供することにあります。

この白書で提供された情報は完全なものではなく、契約上の義務を意味していません。また、白書の目的は潜在的なトークン保有者に重要な情報を詳細に提供し、会社が提供するプロジェクトへの理解とビジョンを共有し、BAASトークンを初めて提供することを決定するうえでサポートいただくことがあります。

この白書の如何なるセクションは、如何なる種類の配分または投資提案書として解釈できるものではありません。

BAASトークンは如何なる国家の司法権においても、如何なる種類の証券でも売買提案はなされません。

弊社はBAASトークンを全世界の市民或いは法人、またはICOに参加しBAASトークンを法律に従って購入できる十分な法的能力、或いは能力を持たざる者には提供しません。

そのような法律が適用される場合、該当者の居住国は対象内か、ICOに参加する資格の有無、BAASトークンを購入できるのかなどが明確でない場合は、法律、財政、税金、またはその他のコンサルタントにお問い合わせください。

この文書は投資者を保護するために考案された管轄権に関する法律、或いは規制行為とは無関係に作成され投資者の規制を受けません。

この白書における陳述、計算及び財務指標のうち一部は予想される予備情報です。これは周知の或いはまだ知られていないリスクと不確実性をベースとしています。そのため実際の状況と結果は、予測されている事と直接的、或いは間接的に大きく異なる可能性があります。

貴殿のICOへの参加は自発的に行われるものです。

ICOは核心的で自発的な基金の募金キャンペーン（Crowd funding Donation Campaign）です。参加をご希望の場合、Crowd funding Donation Campaign Terms and Conditionsへの同意が必要です。

ICOに参加する前に上記の事項を注意深く熟読され、説明された条件とリスクを理解しご確認ください。また、クラウドファンディング慈善基金募金キャンペーンへの参加条件を受諾することが貴殿の保証及び保障においてICOに参加するための前提条件であり、弊社はこの情報を真実であると見做すことになります。

上記の保証や陳述を提供できない場合、ICO及びBAASトークン購入についての貴殿の参加は拒否されます。



“Know more about BaaSid”

8

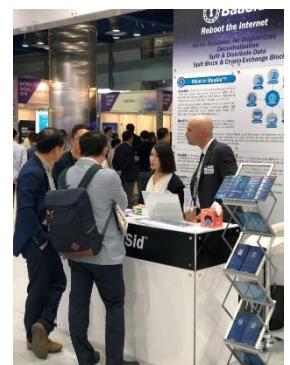
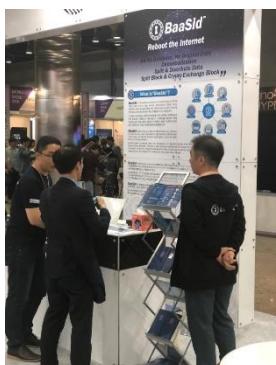
8-1. BaaSid and Crypto Lab hold speech at Aston Alliance Meet-up

- 23th May 2018 (Wednesday), Seoul
- <http://www.thebchain.co.kr/news/articleView.html?idxno=587>
- Meet-up organized by our partner Aston Alliance, Speeches held by BaaSid International Lab (Singapore) and Crypto Lab (Japan)
- “On this day, BaaSid International Lab (Singapore) presented their technology, which is able to split encrypted data into hundreds, thousands of parts. Crypto LAB(Japan) provides explanations for ICO evaluation platforms.”



8-2. BaaSid and Cryptolab participate at WIS (World IT Show) 2018

- May 23rd – May 26th 2018, COEX B Hall in Seoul, KOREA
- <http://www.etnews.com/20180524000262>
- PRO Group (Japan) and BaaSid Internation (Singapore) participated at WIS 2018 being part of joint exhibition booth of “Aston Alliance”. The exhibition event was also combined with a speech event held on May 23rd. BaaSid experts explained their data-split blockchain technology to visitors of the exhibition.



8-3. Cooperation on blockchain-based electronic document processing

- <http://www.fnnews.com/news/201805041420472667>

BaaSid, P.R.O japan and 7 other IT companies sign cooperation agreement on blockchain-based electronic document project Seven companies related to blockchain-based electronic documents, security and communication technology (namely the global project BaaSid, the Japanese company PRO Group and the Korea's Handysoft (Kosdaq), Sejong Telecom (Kosdaq), Korea Trade Information & Communication, Hancom Secure (Kosdaq) and Xblock Systems) signed an agreement to collaborate on the blockchain-based processing of electronic documents. Through this agreement, the consortium members will join hands in developing a Blockchain Network especially optimized for electronic documents to activate Blockchain- based

electronic documents and expand their electronic document processing technology to domestic and global markets. According to the Korea Electronics Association, the size of the electronic document market in Korea is expected to exceed 5 trillion won by 2020 and the global electronic document management system market by about 20 billion dollars.

(May 5th 2018, Financial News)

8-4. Japan Impress & BaaSid Seminar

- <http://www.aktv.co.kr/news/articleView.html?idxno=54084>

“Private ID security based on the Blockchain technology – Seminar held by Impress (Japan) and BaaSid”



On April 13, BaaSid participated at the “Business Changes with Blockchain” in Tokyo. Organized by the Japanese IT Media Experts “Impress” and “IT Leaders”, Mr. Moon Inshic, Member of the BaaSid Project, hold a speech titled “Reboot the Internet”, introducing the concept of a blockchain-based decentralized database for personal ID information.

(April 30th 2018, Asia Economy TV)

8-5. BaaSid & BaaSInfra – Create an ideal Blockchain Environment

- http://www.zdnet.co.kr/column/column_view.asp?article_id=20180419142626&type=det&re=
“The Next Human Life by Blockchain”

In the not so distant future, you will meet a new global life structure. Already today, we can see the efforts of creating new business forms that will be able to change the world. One of these new business forms is the blockchain technology.

(...)

One of the new global players in the blockchain technology will be BaaSid, which serves as a huge data storage utilized by smart phones and computers, based on the business model from BaaSInfra.

The target is not to make a product for selling, but to utilize remaining resources. Once Token will be distributed to the providers of the storage space, the user of the storage space will have to pay tokens, which creates an ideal crypto environment.



(April 20th 2018, Zdnet News)

8-6. BaaSid – The Decentralized Platform

- <https://it.impressbm.co.jp/articles/-/15876>
- <https://internet.watch.impress.co.jp/docs/event/1118011.html>

“BaaSid opens the door for decentralization of personal data”

The personal information in the BaaSid network will not be stored on a centralized database, which lifts lots of concerns concerning data security. If data is storage on a centralized device, it can be unwillingly provided to some people. BaaSid information can only be accessed through instant access by the user himself and is therefore a completely safe way of data saving.

(March 28th 2018, Japan IT Leaders)



Ceton代表取締役のキム・スンギ氏



株式会社Cryptolab代表取締役の大高洋氏

個人情報を守る時代においても、個人データの漏洩や、ブロックチェーン技術データの需要である自律型スマートコントラクトによる個人データの取扱いが、金融機関の業界でも多く注目が寄せられています。そのための認定方法を検討したのが、プロジェクトコードのBaaSInfra(バシフライ)です。その審査に際しては、BaaSInfraの運営元であるBaaSid、アソシエイト会員であるCeton、シンクライアント会員、BaaSidの顧客と社員、さらに今後の開拓について語りました。

【ブロックチェーンをベースとした認証基盤】

——まず、「BaaSid」とは何かについて、またどこが普及を推進しているかを教えてください。

ムン氏：「BaaSid」とは、BaaS(Blockchain as a Service)ベースの個人認証サービスであり、ブロックチェーン技術を用いて個人情報の所有権と権限を明確化するための基盤を目的としたBaaSInfra(バシフライ)でもあります。その審査に際しては、BaaSInfraの運営元であるBaaSid、アソシエイト会員であるCeton、シンクライアント会員、BaaSidの顧客と社員、さらに今後の開拓について語りました。



——また、「BaaSid」とは何かについて、またどこが普及を推進しているかを教えてください。

ムン氏：「BaaSid」とは、BaaS(Blockchain as a Service)ベースの個人認証サービスであり、

ブロックチェーン技術を用いて個人情報の所有権と権限を明確化するための基盤を目的としたBaaSInfra(バシフライ)でもあります。その審査に際しては、BaaSInfraの運営元であるBaaSid、アソシエイト会員であるCeton、シンクライアント会員、BaaSidの顧客と社員、さらに今後の開拓について語りました。

——また、「BaaSid」とは何かについて、またどこが普及を推進しているかを教えてください。

ムン氏：「BaaSid」とは、BaaS(Blockchain as a Service)ベースの個人認証サービスであり、

ブロックチェーン技術を用いて個人情報の所有権と権限を明確化するための基盤を目的としたBaaSInfra(バシフライ)でもあります。その審査に際しては、BaaSInfraの運営元であるBaaSid、アソシエイト会員であるCeton、シンクライアント会員、BaaSidの顧客と社員、さらに今後の開拓について語りました。

——また、「BaaSid」とは何かについて、またどこが普及を推進しているかを教えてください。

ムン氏：「BaaSid」とは、BaaS(Blockchain as a Service)ベースの個人認証サービスであり、

ブロックチェーン技術を用いて個人情報の所有権と権限を明確化するための基盤を目的としたBaaSInfra(バシフライ)でもあります。その審査に際しては、BaaSInfraの運営元であるBaaSid、アソシエイト会員であるCeton、シンクライアント会員、BaaSidの顧客と社員、さらに今後の開拓について語りました。

8-7. Minimize costs for database set-up and database management

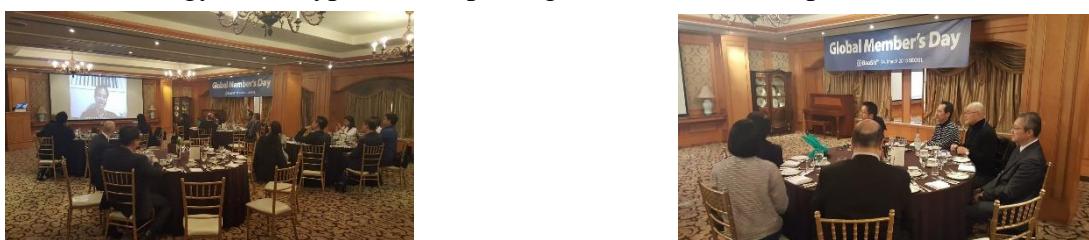
- March 21st 2018, Asian Economy TV Coin Interview
<https://www.youtube.com/watch?v=CBKyHA10cmU>



Professor Inoue, R & D leader of BaaSid, appeared on “Coin Interview” at Asia Economy TV to explain the BaaSid technology to the viewers. Professor Inoue mainly mentioned the cost advantages that many online service providers can profit from by using the BaaSid system. BaaSid is a 100% decentralized platform that dramatically reduces the huge data management costs which are normally caused by the set-up and management of a centralized database.

8-8. BaaSid Global Members Day

- March 14th 2018, Seoul Imperial Palace 6F
 "The new technology of encrypted data splitting will further develop the blockchain industry"



On March 14, Nicholas Ng S.L, CEO of BaaSid International Lab (S) Pte in Singapore, BaaSid International Lab CFO Leroy Zen Lau, Taiwan BaaSInfra CEO James Hwang, Professor, Japan PRO Group Chairman Otaka Jun, Buffalo University Economics Professor Tetsuya Saito, Security Technology Advisor Takeshi Doshisha and the main members in Korea gathered for the annual BaaSid Global Members Day.

Participants are focusing on further developing the entire Blockchain industry by introducing a new technology called 'BaaSid's Data Encryption Separation / Distributed Storage and Association'. To ensure the success of the global project BaaSid, everybody promised to do their best in their respective areas such as research and development, marketing and technical consulting.

8-9. BaaSid participates “Blockchain Meets Asia” Event

- <http://it.chosun.com/news/article.html?no=2848024>

“BaaSid - Blockchain Meets Asia ”

“Blockchain Meets Asia” was held by the team of the Blockchain Marketing Company team (teamw.e) to provide a forum for sharing the vision of the future and expanding the network.

BaaSid announces Blockchain technology to prevent forgery and tampering from hackers and to maintain the security and permanence of participants through public transaction books.

(March 13th 2018, Chosun Ilbo)



8-10. Strong Partners in Blockchain Industry

- <http://www.fnnews.com/news/201802051027005526>

“Korean Blockchain Expert Company XBlock Systems participates in BaaSid project”
 BaaSid, a project operated by the Japanese IT Security Company “P.R.O” gained another valuable cooperation partner with the Korean Blockchain Expert Company “XBlock Systems”.

BaaS is the abbreviation for Blockchain as a Service, which is a concept where a blockchain infrastructure is borrowed



partially, or in its entirety, for the development of internet services related to existing web services, app services, and blockchain services (cryptocurrency exchanges, etc.).

(February 5th 2018, Financial News)

8-11. Major Channel



https://www.youtube.com/channel/UCj9J0l61lx_MTXWj54FaXGA/videos

- ✓ What Is BaaSid?
- ✓ BaaSid's Technology
- ✓ The Egg of Columbus : BaaSid's Story



- ✓ The New Trend of Cryptocurrency



- ✓ BaaSid's New perception and philosophy



- ✓ Who makes BaaSid



8-12. Major Channel and Information

-  BaaSid Official Website : www.baasid.com // www.baasid.io
-  Youtube Review : <https://youtu.be/RzVRYvY-hm0>
-  Telegram : <https://t.me/BaaSidOfficial>
-  Kakao opentalk : <https://open.kakao.com/o/gJslUMJ>
-  Twitter : https://twitter.com/baa_sid
-  Medium : <https://medium.com/@baasid.info>
-  Youtube :
https://www.youtube.com/channel/UCj9J0l61lx_MTXWj54FaXGA/featured
- Global Introduction (Japan) :
<https://www.watch.impress.co.jp/topics/baasid1803/>
- Global Introduction (China) :
<http://www.qukuaiwang.com.cn/news/6934.html>
- Global Introduction (USA) :
<https://theusacommerce.com/baasid-BAS-secure-id-verification-in-an-instant-with-Blockchain-technology/>